

# I 船員職業に関する意識調査（2年度）

## — 中学生高校生とその保護者に対する意識調査 —

目次	
はじめに	1
1 生徒の意識調査結果	2
A 生徒の属性	2
B 進路選択	3
C 海事の経験や知識の程度	11
D 船員職業について	13
2 保護者の意識調査	21
A 調査の概要	21
B 保護者の属性	22
C 保護者の職業選択	23
D 子供の進路	26
E 船員職業	27
まとめ	34

### はじめに

日本の海運業および水産業が活力ある産業であり続けるためには、若年労働力の絶えざる流入が不可欠である。しかしながら、若年労働人口の減少と一般国民の職業意識の変化にともない、若年船員の確保は、必ずしも容易ではなくなってきている。そこで、「船員職業に関する意識調査」を実施し、今後における船員後継者確保の対策に資する参考資料を提供することとした。

第1年度の商船科系および水産科系教育機関の在对学生に対する意識調査に引き続き、今年度はそれら学校への志望源である中学校・高等学校の在學生、およびその進路選択に大きな影響を及ぼす両親に対して意識調査を

施した。

### 1 調査の目的

中学校・高等学校の在學生およびその両親に対して、海運業、水産業に関する産業イメージ、船員に関する職業イメージ、進路選択の要因等について意識調査を実施し、船員職業が進路選択にあたって、どのように位置づけられているかを明らかにし、船員後継者の確保や処遇に関する対策を立てるための検討資料とする。

### 2 調査の方法

#### A 調査対象

- ①中学校 2年生 750人(男女、各375人)
- ②高等学校2年生 750人(男女、各375人)
- ③同上の保護者 1,500人  
(父母等、各750人)

#### B 調査票

調査票は以下のように4種類とした。

	海運系調査票	水産系調査票	合計
①生徒用	750	750	1,500
②保護者用	750	750	1,500
合計	1,500	1,500	3,000

#### C 調査地

調査地は、全国のなかから、海運業や水産業とそれらの船員のイメージに差が出るとみられる地域を念頭に置き、次の地域を選択した。

- ①宮城県気仙沼市 中学校1校、高校1校

- ②神奈川県横浜市 同上
- ③富山県新湊市 同上
- ④愛媛県今治市 同上
- ⑤長崎県長崎市 同上

#### D 調査時期

調査対象校の都合にしたがい、1992年10月～11月にかけて実施した。

### 3 調査票の送付数と回収数、有効資料

調査対象校におけるクラス数やその編成などの都合により、各校一律ではなく、それぞれの構成に応じて送付した。送付総数は、生徒、保護者とも、1,673通である。

その回収数は、総数で、生徒1,476通、保護者1,417通となった。送付数が、すべて配布されたとしてみると、回収率は生徒88.2%、保護者84.7%となる。

回収調査票のなかには、欠落部分のあるものもみられたが、すべて有効資料とした。なお、宮城県高校に限り、男子のみとなった。

有効資料は、中学生694通、高校生782通、中学生保護者665通、高校生保護者752通である。その男女別構成は、中学校は男子53.2%、女子46.8%、高校男子55.1%、女子44.9%、保護者男子45.4%、女子54.6%となっている。

## 1 生徒の意識調査結果

### A 生徒の属性

#### 1 男女の別

生徒回答者は中学校では男53.2%、女46.8%、高校ではそれぞれ55.1%、44.9%となっている。

#### 2 兄弟姉妹の数

兄弟姉妹の総数は、全体では、1人37.1%、

2人37.8%、3人19.5%、4人3.8%、5人以上1.8%であり、その平均は1.97人である。それが1人の比率は、高校レベルで見れば、富山、神奈川、愛媛、宮城、長崎の順で高い。

なお、兄弟の数についてみると、1人59.7%、2人30.6%、3人7.9%、4人1.2%、5人以上0.6%であり、その平均は1.53人である。また、姉妹の数についてみると、1人67.0%、2人25.8%、3人5.7%、4人1.1%、5人以上0.4%であり、その平均は1.42人である。

兄弟姉妹の総数2人以上が生徒の約6割、また兄弟の数1人が約6割となっている。子供の少数化と、長男長女化が進行していることを知りうる。

船員志望男子は、非志望男子のくらべ、長男の比率が高い。それは後述の就職地元志向とかかわりがあるようである。

なお、この船員志望、非船員志望の別は、Q後述の結果による分類である。

### 3 続柄

続柄は、兄弟姉妹の数を反映して、長男または長女の比率は中学校男子67.5%、女子67.7%、高校男子69.6%、女子68.1%と、きわめて高い。

### 4 保護者

保護者は、中学校では父親91.9%、母親7.8%、その他0.3%、また高校ではそれぞれ91.7%、7.7%、0.5%となっている。

### 5 保護者の仕事

保護者の仕事は、全体では、専門・技術的な仕事21.7%、管理的な仕事7.3%、事務の仕事8.5%、販売の仕事10.4%、農林・水産の仕事6.6%、運輸・通信の仕事5.4%、工場、建設の仕事20.4%、サービスの仕事7.9%、

その他11.8%という構成となっている。

#### 6 身近に船員の有無

親しい人や身近な人に、商船あるいは漁船の船員であった人や、現在そうである人がいるかどうかを、質問した。

そうした人がいるあるいはいたの比率は、中学校では祖父15.7%、父14.1%、兄弟0.9%、親戚29.4%、友人・知人18.2%、近所の人35.3%であり、高校ではそれぞれ10.9%、10.2%、1.2%、27.5%、22.1%、25.9%である。

なお、父が船員であるあるいはあったの比率は高いが、すてみた保護者の仕事からみて、現役船員は3%を超えることはないと思われる。それらの比率は、全国レベルからみれば、著しく高いことはいままでもない。

船員志望男子は、非志望男子にくらべ、いずれの人においてもそうした人がいるあるいはいたの比率は、たとえば父について前者27.2%、後者13.7%というように、かなり高い。

#### 7 英語と数学の自己評価

基礎学力である英語と数学について自己評価を求めた。

英語を得意とする比率は中学校では17.4%、高校では14.7%であり、また数学ではそれぞれは20.6%、14.9%である。男女別では、男子が数学、女子が英語を、他にくらべ比較的、得意としている。学校別では、かなりの違いが認められる。

船員志望男子は、非志望男子にくらべ、英語、数学とも、それらを不得意とする比率が若干、高い。

## B 進路選択

### 1 目指す職業

#### ① いままでに大変あこがれた職業(表1)

それらを質問したところ、まずそうした職業がなかったあるいは無記入が、中学校では男子40.4%、女子14.5%、高校ではそれぞれ35.0%、17.7%となっている。男子のその比率の高さが注目される。

具体的な職業の上位5位は、男子合計ではプロスポーツ選手、警察官等、パイロット、教員、サラリーマン等(以上合計比率26.5%)、また女子合計では保母、看護婦、教員、スチュワーデス、美容師等(以上合計比率45.4%)であった。何はともあれ、どういった職業があこがれとなったかを知りうる。そのなかにおいて、女子は男子にくらべ、上位職業への集中度が高い。また、プロスポーツ選手やパイロット、スチュワーデスを除き、かなり現実的な職業が上位を占めている。

#### ② 将来つきたいと思っている職業(表2)

それらを質問したところ、まずそうした職業がなかったあるいは無記入が、中学校では男子26.6%、女子26.1%、高校ではそれぞれ28.5%、23.4%となっている。あこがれた職業にくらべ、その男子の比率は下がり、逆にその女子の比率が上がり、同じ比率となっている。女子は、男子にくらべ、将来の職業をあこがれ職業ほどには見極められなくなっている。

具体的な職業の上位5位は、男子合計では、サラリーマン等、公務員、プロスポーツ選手、コンピュータ関係、教員(以上合計比率35.2%)、また女子合計ではOL等、看護婦、保母、教員、美容師等(以上合計比率34.9%)で

表1 憧れの職業（男子生徒）

(人)

職名	中 学						高 校						合 計					
	宮城	神川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神川	富山	愛媛	長崎	計
なし	33	30	30	16	40	149	48	26	28	15	34	151	81	56	58	31	74	300
スポーツ選手	8	6	4		5	23	18	11	1	4	11	45	26	17	5	4	16	68
警察, 保安官, 消防士	8	4	7	6	3	28	6	6	1	5	1	19	14	10	8	11	4	47
パイロット	2	4	4	5	2	17	5	11	1	2	3	22	7	15	5	7	5	39
教師	4	2		2		8	10	4	6	3	2	25	14	6	6	5	2	33
サラリーマン, 銀行員, 事務関係	6	1		2	2	11	4	2	3	2	3	14	10	3	3	4	5	25
映画関係, 俳優, タレント	1	1	1	4	1	8	5	3	1	2	3	14	6	4	2	6	4	22
医師	1	2	1	1	1	6	8	2		3	1	14	9	4	1	4	2	20
タクシー運転手, トラック運転手	1	4	2	1	1	9	3		2		4	9	4	4	4	1	5	18
官僚, 公務員	2		1		1	4	10		2		1	13	12	0	3	0	2	17
大工		2	3	4	1	10	2	1		1	2	6	2	3	3	5	3	16
自営業, 飲食業, スポーツ店	1	1	2	5	1	10	4	2				6	5	3	2	5	1	16
すし職人, コック	3	1	3	3		10			1	1	2	4	3	1	4	4	2	14
司法関係			1	2	1	4	3	3		3	1	10	3	3	1	5	2	14
漫画家, アニメーター, イラストレーター	1	2		1		4	3	1	1	2		7	4	3	1	3	0	11
自動車整備工関係	3	1		1	1	6	1			1	3	5	4	1	0	2	4	11
エンジニア	2	1	2			5	3			2	1	6	5	1	2	2	1	11
ミュージシャン, 音楽家				2		2	2		1	2	3	8	2	0	1	4	3	10
コンピューター技師, 情報関係			1	1	1	3	3	1			3	7	3	1	1	1	4	10
会社社長, 会計士		1	1	6		8	1			1		2	1	1	1	7	0	10
船員	1	2		1	4	8				1	1	2	1	2	0	2	5	10
建築, デザイナー, インテリア				2	2	4	1	2	1	1	1	6	1	2	1	3	3	10
新幹線, 電車の運転手		2	2	1		5	1	1				2	1	3	2	1	0	7
商社マン, デパート店員, 商人	2	1		1		4	2	1				3	4	2	0	1	0	7
作家, 詩人	1	1	1	1		4	1	1				2	2	2	1	1	0	6
科学者, 学者, 動物学者	1	1		1		3	1	1	1			3	2	2	1	1	0	6
漁船員				3		3	2					2	2	0	0	3	0	5
政治家, 総理大臣	1					1	2	1		1		4	3	1	0	1	0	5
マスコミ関係						0	2	2		1		5	2	2	0	1	0	5
機械関係, おもちゃ製造	1			1	1	3					1	1	1	0	0	1	2	4
翻訳, 通訳			2			2					2	2	0	0	2	0	2	4
発明家	1	1				2			1			1	1	1	1	0	0	3
ホテルマン						0				1	1	2	0	0	0	1	1	2
写真家, 画家						0		1		1		2	0	1	0	1	0	2
整体師						0				2		2	0	0	0	2	0	2
外車販売会社	2					2						0	2	0	0	0	0	2
スチュワード						0			1			1	0	0	1	0	0	1
郵便局員						0	1					1	1	0	0	0	0	1
食品会社				1		1						0	0	0	0	1	0	1
水族館						0			1			1	0	0	1	0	0	1
漁業協同組合						0	1					1	1	0	0	0	0	1
花火職人		1				1						0	0	1	0	0	0	1
ドミナー						0		1				1	0	1	0	0	0	1
聖職者		1				1						0	0	1	0	0	0	1
計	86	73	68	74	68	369	153	84	53	57	84	431	239	157	121	131	152	800

表2 希望する職業（男子生徒）

(人)

職名	中 学					高 校					合 計							
	県 名																	
	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計
なし	26	17	22		33	98	43	22	25	4	29	123	69	39	47	4	62	221
サラリーマン、会社員、事務関係	20	15	13	12	7	67	5	16	6	6	5	38	25	31	19	18	12	105
公務員	6		5	2	5	18	53	2	1	4	3	63	59	2	6	6	8	81
プロスポーツ選手	5	9	1	7	1	23	4		1		6	11	9	9	2	7	7	34
コンピュータ、プログラマー	1	4		3	5	13	3	4	1	6	5	19	4	8	1	9	10	32
教師	5	3	3	3		14	3	5	3	2	3	16	8	8	6	5	3	30
建設、土木関係	3		3	3	5	11	4	4	1		7	16	7	4	1	3	12	27
自営魚業、パチンコ店経営	3	3	3	7		16	2	1		4	1	8	5	4	3	11	1	24
警察官、消防士、自衛隊	3	1	2	5		11	1	3	1	7		12	4	4	3	12	0	23
自営業	3	2	3	6		14	2	1		3	1	7	5	3	3	9	1	21
デザイナー、自動車の設計	1	1	1	1	2	6	1	5	1	2		9	2	6	2	3	2	15
コック	3	2	1	2		8	1		1	1	3	6	4	2	2	3	3	14
自動車整備工				1	1	2	1		1	4	5	11	1	0	1	5	6	13
エンジニア		1	1			2	4	2			4	11	4	3	1	4	1	13
マスコミ関係		1		2	2	5		4				1	5	0	5	0	2	10
船員	1	1	2	1	4	9					1	1	1	1	2	1	5	10
医療関係				1		1	1		1	3	2	7	1	0	2	3	2	8
タレント、アイドル歌手	1	1	1	3		6			1		1	2	1	1	2	3	1	8
漫画家、イラストレーター、アニメーター	1					1	4		3		3	7	5	0	3	0	0	8
バス、トラック運転手		3		1		4	1	1			1	3	1	3	1	1	1	7
研究者、学者				1		1		2	1	1	2	6	0	2	1	2	2	7
税理士、会計士						0	4	2	1			7	4	2	1	0	0	7
医師	1		2	1	1	5	1					1	2	0	2	1	1	6
ミュージシャン、クラリネット奏者				1		1	3		1			5	3	0	1	1	1	6
大工、花火職人		2	1	1	1	5					1	1	0	2	1	1	2	6
旅行会社、ツアーコンダクター				1		1	2	1			2	5	2	1	0	1	2	6
会社役員	1	1	1	2		5						0	1	1	1	2	0	5
漁師				3		3	1				1	2	1	0	0	3	1	5
パイロット		1	3			4	1					1	1	1	3	0	0	5
作家		1	1			2	1	1				2	1	2	1	0	0	4
造船業				1	1	2					1	1	0	0	0	1	2	3
司法関係				1		1		2				2	0	2	0	1	0	3
サービス業						0				1	1	2	0	0	0	1	1	2
司法書士						0	1	1				2	1	1	0	0	0	2
政治家、大臣				1		1		1				1	0	1	0	1	0	2
ホテルマン						0	1			1		2	1	0	0	1	0	2
声優、俳優						0	1			1		1	1	1	0	0	0	2
国際関係の仕事		1				1	1					1	1	1	0	0	0	2
JR、運輸通信関係	1					1	1	1				2	1	1	0	0	0	2
水産加工業						0	2			1		1	1	0	1	0	0	2
英語関係						0		2				2	0	2	0	0	0	2
楽器業界						0	1					1	1	0	0	0	0	1
通訳			1			1						0	0	0	1	0	0	1
農業						0			1			1	0	0	1	0	0	1
カメラマン						0			1			1	0	1	0	0	0	1
営林署				1		1						0	0	0	0	1	0	1
海事代理士						0				1		1	0	0	0	1	0	1
店長				1		1						0	0	0	0	1	0	1
パチプロ						0		1				1	0	1	0	0	0	1
獣医		1				1						0	0	1	0	0	0	1
聖職者		1				1						0	0	1	0	0	0	1
菓子屋		1				1						0	0	1	0	0	0	1
美容師		1				1						0	0	1	0	0	0	1
パチンコ店経営	1					1						0	1	0	0	0	0	1
福祉関係						0				1		1	0	0	0	1	0	1
パート業						0				1		1	0	0	1	0	0	1
計	86	73	68	74	68	369	153	84	53	57	84	431	239	157	121	131	152	800

ある。

あこがれた職業と比較すると、男子では警察官等やパイロットが脱落し、公務員、コンピュータ関係が登場し、また女子ではスチュワーデスが脱落し、OL等が登場し、新しく登場した職業が最上位を占めるようになっている。職業選択はより現実的になっているが、男子ではフロスポート選手といった職業が期待をとどめている。

なお、今回の結果は、この種の様々な調査結果とほぼ一致している。

## 2 進路希望

卒業後の進路希望は、中学校では進学92.9%、就職1.4%、未定5.6%であり、高校ではそれぞれ66.2%、24.2%、9.6%となっている。2学年半ばで、すでに今後の進路はほぼ確定しているかのようである。なお、昭和58年度高校調査では、進学が70.2%であった。

## 3 進学志望校

進学希望者の進学志望校についてみると、中学校では普通科高校71.3%、職業科高校9.0%、その他の高校1.9%、専修・専門学校2.2%、職業訓練校0.3%、その他0.3%、未定15.0%となっている。

高校では、国公立の文科系大学17.2%、国公立の理工科系大学9.8%、私立の文科系大学32.1%、私立の理工科系大学10.8%、専修・専門学校18.7%、その他5.1%、未定6.2%となっている。

中学校は未定が若干、多いとはいえ、高校とともに、進学志望校はかなり具体的に決定されているかのようである。

## 4 進学志望校の所在地

進学志望校の所在地は、中学校では県内95.

7%、県外4.3%である。高校ではそれぞれ36.4%、63.6%であり、神奈川以外の高校は進学先をすぐれて県外においている。なお、神奈川の高校は他にくらべ、県内比率が高いが、それはいわば当然のあり様となっている。

## 5 将来の就職地域(表3)

生徒は、いずれ、就職(あるいは就業)することになるが、その場合、どういう就職地で働きたいかについて、質問した。

中学校では、ぜひ大都市で働きたい10.9%、できれば大都市で働きたい28.3%、できれば地元か近県で働きたい46.4%、ぜひ地元か近県で働きたい14.4%であり、高校ではそれぞれ10.7%、27.4%、46.3%、15.5%である。

なお、昭和58年度高校調査では、できれば地元か近県で働きたい38.0%、ぜひ地元か近県で働きたい7.3%であった。

男女別では、高校に限ってみれば、男子は女子にくらべ、都会志向が若干、強いようである。学校別では、中学校、高校ともに、都会志向約40%、地元志向約60%となっている。ただ、宮城の中学校は、他にくらべ、都会志向の比率が高い。

船員志望男子は都会志向25.2%、地元志向74.7%となっており、非志望男子の42.0%、58.0%にくらべ、あきらかに地元志向が顕著である。

表3 将来の就職地域

(%, 人)

			ぜひ大都市	大都市	地 元	ぜひ地元	合 計	実 数
中学 宮 城	男女合	男子	11.6	46.5	34.9	7.0	100.0	86
		女子	10.7	44.6	35.7	8.9	100.0	56
		計	11.3	45.8	35.2	7.7	100.0	142
中学 神奈川	男女合	男子	16.9	22.5	47.9	12.7	100.0	71
		女子	11.3	25.8	50.0	12.9	100.0	62
		計	14.3	24.1	48.9	12.8	100.0	133
中学 富 山	男女合	男子	14.1	15.6	51.6	18.8	100.0	64
		女子	6.2	31.2	46.9	15.6	100.0	64
		計	10.2	23.4	49.2	17.2	100.0	128
中学 愛 媛	男女合	男子	16.2	17.6	51.4	14.9	100.0	74
		女子	5.2	29.9	46.8	18.2	100.0	78
		計	10.6	23.8	49.0	16.6	100.0	151
中学 長 崎	男女合	男子	8.8	17.6	48.5	25.0	100.0	68
		女子	7.8	29.7	51.6	10.9	100.0	64
		計	8.3	23.5	50.0	18.2	100.0	132
中学 合 計	男女合	男子	13.5	25.1	46.3	15.2	100.0	363
		女子	8.0	31.9	46.4	13.6	100.0	323
		計	10.9	28.3	46.4	14.4	100.0	686
高校 宮 城	男女合	男子	7.4	29.7	41.9	20.9	100.0	148
		計	7.4	29.7	41.9	20.9	100.0	148
高校 神奈川	男女合	男子	16.9	24.1	49.4	9.6	100.0	83
		女子	16.1	24.1	50.6	9.2	100.0	87
		計	16.5	24.1	50.0	9.4	100.0	170
高校 富 山	男女合	男子	9.8	33.3	37.3	19.6	100.0	51
		女子	9.3	32.0	46.4	12.4	100.0	97
		計	9.5	32.4	43.2	14.9	100.0	148
高校 愛 媛	男女合	男子	17.5	31.6	36.8	14.0	100.0	57
		女子	4.2	23.2	56.8	15.8	100.0	95
		計	9.5	26.3	49.3	15.1	100.0	152
高校 長 崎	男女合	男子	9.5	31.0	44.0	15.5	100.0	84
		女子	10.9	17.2	50.0	21.9	100.0	64
		計	10.1	25.0	46.6	18.2	100.0	148
高校 合 計	男女合	男子	11.3	29.6	42.6	16.5	100.0	423
		女子	9.9	24.8	51.0	14.3	100.0	343
		計	10.7	27.4	46.3	15.5	100.0	766
船 員 志 望	ありなし ありなし ありなし ありなし 合	男子	9.7	15.5	56.3	18.4	100.0	103
		女子	12.7	29.3	42.5	15.5	100.0	683
		男子	4.3	34.8	47.8	13.0	100.0	23
		女子	9.2	28.0	48.8	14.0	100.0	643
		計	10.8	27.8	46.3	15.0	100.0	1,452
身 近 に	船員あり 船員なし 合	男子	10.9	28.9	44.2	16.0	100.0	733
		女子	10.7	26.7	48.5	14.0	100.0	719
		計	10.8	27.8	46.3	15.0	100.0	1,452

## 6 就職地の大都市志向理由

就職地域として大都市を志向している生徒に対して、その理由を尋ねた。

中学校では、希望する会社が大都市にあるから12.2%、希望する職業が大都市にあるから15.2%、大都市にあこがれているから34.2%、地元では良い就職先がないから30.4%、その他8.0%であり、高校ではそれぞれ9.3%、20.3%、32.0%、30.6%、7.9%である。中学校と高校で、大きな違いはない。

この大都市志向は、目指す職業を念頭においた、積極的な志向と、地元で就職先がないという、半ば消極的な志向、そして一度は行ってみたいといった、いわば様子伺的な志向とに、3分割されている。

男女別では、男子が積極的な志向、女子が様子伺的な志向が若干、強いようである。学校別では、かなりの違いがある。地元では良い就職先がないからの比率に限ってみると、それが高いのは宮城の中学校、高校、愛媛の高校である。

## 7 就職地元志向の理由

就職地域として地元を志向している生徒に対して、その理由を尋ねた。

中学校では地元が良い就職先があるから2.2%、住宅事情が良いから12.9%、地元や近県に友人・知人がいるから19.8%、親が地元や近県での就職を望んでいるから9.0%、自然環境が良く、生活しやすいから22.4%、精神的にゆとりのある生活ができるから28.8%、その他4.9%である。高校では、それぞれ3.4%、8.2%、13.3%、12.5%、21.8%、33.6%、7.2%となっている。

中学校と高校の違いは少なく、いずれにあっ

ても自然環境が良く、生活しやすいからと、精神的にゆとりのある生活ができるからが、50%強に及んでいる。生徒は、地元の良い就職先がなくても、それ以外の魅力でもって、しかも親が望んでいることもあって、地元志向しようとしているかのようなのである。最近における地元志向の強まりの根拠を教えてください。

船員志望男子と非志望男子との違いはほとんどない。その場合、船員は確かに地元に住居することになるといっても、日常的には地元で生活しているわけではない。したがって、そのギャップについて、どのようなことがあれば、若者がその折り合いをつけてくれるかを、関係業界は問われていることになる。

## 8 就職重視項目(表4)

就職先(会社)を選ぶ時、どのようなことを重視するかについて、3選択の質問を行なった。その上位5位に限ってみてみる。

中学校では、仕事が自分の性格にあっている60.7%、初任給や給与が高い40.0%、将来性がある33.2%、通勤に都合がよい33.2%、経営が安定している29.2%である。

高校では、仕事が自分の性格にあっている63.6%、初任給や給与が高い42.4%、将来性がある38.4%、経営が安定している29.4%、休日や休暇が多く、残業が少ない28.3%である。

仕事が自分の性格にあっているが、多数選択されることは当然である。この適性に次いで、労働条件や職業の安定がより選択されている。それらの判定と、適性との折り合いによって、具体的な就職先が決定されるかのようである。



(%, 件)

表4 就職重視項目

	待来性がある	会社の規模が大きい	社の初期経験や給与が高い	通勤に都合が良い	会社のイメージが良い	経営が安定している	休日や休日が少ない	有名企業が少ない	仕事の内容が自分に合っている	海外勤務の機会がある	その他	無回答	合計
中学宮城	37.3	7.5	46.1	22.4	29.9	23.7	28.6	12.4	64.7	16.2	3.7	2.5	300.0
男女合計	25.1	5.4	37.7	35.9	19.8	46.7	14.4	7.2	61.1	18.0	1.8	16.2	300.0
	32.4	6.6	42.6	27.9	25.7	33.1	22.8	10.3	63.2	16.9	2.9	8.1	300.0
中学神奈川	37.2	9.6	34.4	42.7	20.6	30.3	24.8	20.6	42.7	12.4	6.9	17.9	300.0
男女合計	30.2	9.5	23.8	42.9	17.5	39.7	17.5	4.8	66.7	19.0	6.3	22.2	300.0
	33.9	9.6	29.5	42.8	19.2	34.6	21.4	13.3	53.8	15.5	6.6	19.9	300.0
中学富山	45.5	7.6	51.5	28.8	13.6	27.3	27.3	7.6	66.7	4.5	4.5	15.2	300.0
男女合計	36.3	7.9	41.1	39.5	23.3	20.5	20.5	1.6	63.2	20.5	9.5	3.2	300.0
	41.0	7.7	46.4	34.0	19.3	24.0	24.0	4.6	64.9	12.4	7.0	1.5	300.0
中学愛媛	36.1	13.9	40.3	19.4	16.7	29.2	34.7	12.5	58.3	15.3	4.2	15.3	300.0
男女合計	26.4	4.0	30.4	29.1	31.7	22.5	26.4	2.6	68.7	21.1	4.0	33.0	300.0
	31.2	8.8	35.2	24.4	24.4	23.7	30.5	7.4	63.7	18.3	4.1	2.0	300.0
中学長崎	26.5	7.4	51.5	32.4	16.2	36.8	38.2	8.8	38.2	10.3	2.9	1.5	29.4
男女合計	29.7	3.1	42.2	43.8	17.2	20.3	15.6	6.2	78.1	23.4	4.7	15.6	300.0
	28.0	5.3	47.0	37.9	16.7	28.8	27.3	7.6	56.6	16.7	3.8	0.8	22.7
中学合計	36.5	9.2	44.6	29.0	19.8	29.2	30.6	12.5	54.3	12.0	4.7	1.9	15.6
男女合計	29.5	5.9	34.8	37.9	22.7	29.2	19.3	4.4	67.8	20.5	6.8	0.9	300.0
	33.2	7.6	40.0	33.2	21.2	29.2	25.3	8.7	60.7	16.0	5.7	1.5	17.8
高校宮城	46.0	8.7	41.3	19.3	18.7	34.7	30.0	0.7	61.3	20.0	2.0	1.3	16.0
男女合計	46.0	8.7	41.3	19.3	18.7	18.7	30.0	0.7	61.3	20.0	2.0	1.3	16.0
高校神奈川	53.2	8.5	31.5	25.4	10.9	37.5	12.1	2.4	66.5	26.6	6.0	3.6	15.7
男女合計	22.1	11.1	26.6	45.4	19.9	17.7	18.8	6.6	73.1	32.1	8.9	3.3	300.0
	37.0	9.8	28.9	35.8	15.6	27.2	15.6	4.6	69.9	29.5	7.5	3.5	300.0
高校富山	43.4	18.9	43.4	15.1	28.3	34.0	18.9	1.9	52.8	18.9	7.0	24.5	300.0
男女合計	27.0	6.0	45.0	31.0	16.0	25.0	29.0	5.0	61.0	23.0	4.6	25.0	300.0
	32.7	10.5	44.4	25.5	20.3	28.1	25.5	3.9	58.2	21.6	4.6	24.8	300.0
高校愛媛	53.9	7.2	39.5	23.4	14.4	25.1	32.3	7.2	62.9	18.0	1.8	10.8	300.0
男女合計	30.7	7.4	51.9	22.3	17.0	40.3	39.2	4.2	63.6	11.7	4.2	6.4	300.0
	39.3	7.3	47.3	22.7	16.0	34.7	36.7	5.3	63.3	14.0	3.3	2.0	8.0
高校長崎	45.6	10.8	45.6	14.4	15.6	20.4	42.0	7.2	60.0	14.4	3.6	20.4	300.0
男女合計	26.7	9.4	61.3	26.7	23.6	23.1	28.3	3.1	70.7	11.0	1.6	11.0	300.0
	37.4	10.2	52.4	19.7	19.0	22.4	36.1	5.4	64.6	12.9	2.7	0.7	300.0
高校合計	48.0	10.1	40.3	19.5	17.2	31.1	27.8	3.3	61.2	19.8	2.8	17.2	300.0
男女合計	26.7	8.3	45.1	31.6	18.7	27.3	29.0	4.9	66.6	20.1	5.7	14.6	300.0
	38.4	9.3	42.4	25.0	17.9	29.4	28.3	4.0	63.6	19.9	4.1	1.6	16.0
船員志望	48.4	8.7	39.7	15.5	16.5	33.9	35.8	10.6	54.2	13.5	4.8	15.5	300.0
あり男子	41.9	9.8	42.6	25.1	18.7	29.7	28.1	7.1	58.6	16.6	3.5	16.6	300.0
あり女子	33.3	4.2	33.3	25.0	29.2	25.0	25.0	4.2	58.3	12.5	8.3	41.7	300.0
なし男子	27.9	7.3	40.4	35.0	20.3	28.3	24.3	4.6	67.5	20.6	6.2	16.4	300.0
なし女子	36.0	8.5	41.3	28.8	19.4	29.3	26.9	6.2	62.3	18.1	4.9	16.9	300.0
合計	36.5	8.1	42.4	26.2	20.7	29.5	28.7	6.3	60.2	18.2	4.8	16.3	300.0
船員なし	35.4	8.9	40.1	31.5	18.1	29.1	29.1	6.0	64.3	18.0	4.9	17.4	300.0
合計	36.0	8.5	41.3	26.8	19.4	29.3	29.3	6.2	62.3	18.1	4.9	16.9	300.0

中学校と高校では大きな違いはない。男女別では、中学男子は初任給や給与が高い、休日や休暇が多い、中学女子は仕事が自分の性格にあっている、高校男子は将来性がある、高校女子は通勤に都合がよいが、他に比べて多く選択されている。学校別でも、違いが認められるが、省略する。

船員志望男子と非志望男子との違いは小さいが、前者は将来性がある休日や休暇が多く、残業が少ないを重視しているようである。

### 9 ヒトの国際化

今日的なヒトの国際化について、いくつかの質問を用意した。

① まず、外国人といっしょに働くことについては、中学校では働いてみたい60.5%、働きたくない39.5%であり、高校ではそれぞれ66.2%、33.8%である。

中学校と高校では大きな違いはない。男女別では中学校女子、学校別では神奈川の高校が、他に比べて働いてみたいの比率が高い。

船員志望男子の働いてみたいの比率は71.7%と、非志望男子の60.1%にくらべかなり高い。

② 外国人が経営する職場で働くことについては、中学校では働いてみたい29.2%、働きたくない70.8%であり、高校ではそれぞれ31.0%、69.9%である。

中学校と高校では大きな違いはない。男女別では女子が男子にくらべ、働いてみたいの比率が若干、高い。学校別では、やはり神奈川の高校が若干、高い。

なお、船員志望男子と非志望男子との違いはない。

③ 外国に行って、働くことについては、

中学校では働いてみたい36.7%、働きたくない63.3%であり、高校ではそれぞれ40.4%、59.6%である。

中学校と高校では大きな違いはない。男女別では、上記とは逆に、中学校女子が中学校男子にくらべ、働いてみたいの比率が若干、高い。また、学校別では、やはり神奈川の中学校、高校が若干、高い。

また、同様に、船員志望男子と非志望男子との違いはない。

### 10 進路の相談相手とその程度

就職や進学を決めるにあたって、父親、母親、友人、先生それぞれに、どの程度、相談するすかについて質問した。その場合の相談は、すでにみたように、主として進学に関してである。

かならず相談する比率は、中学校では父親53.0%、母親61.1%、友人14.2%、先生20.6%、高校ではそれぞれ37.2%、51.9%、21.9%、24.6%である。

中学校、高校の別なく、母親、父親、先生、友人の順で、相談の程度が強い。いずれも、母親、父親との相談の程度が強いが、高校になると中学校にくらべ、友人、先生との相談の程度が強まる。

男女別では、男子の父親との相談、女子の母親との相談、女子の友人との相談の程度は、他に比べて強い。

これからみれば、生徒は母親を主としながら、両親とはほぼ確実に相談し、それをホローするため、友人や先生と相談しているかにみえる。

### 11 進路に対する親の態度

生徒が希望している学校や職業を選択する

ことについての親の態度を、質問した。

それらの回答うち、学校についてはすでにみたように現実的な態度が示されているが、職業については大幅に仮定の態度となっている。

学校については、父親や母親から中学校では70%弱、高校では約60%の賛成をえている。職業については、父親や母親から中学校では約50%、高校では約55%の賛成をえている。

それに対して、学校、職業を問わず、父親や母親からの反対は5%内外にとどまり、また母親の賛成率は父親より高い。

ただ、高校にあっては、中学校とは違って、就職がかなり現実的となっている場合があるためか、賛成率は高くなっている。

船員志望男子は、職業について、父から46.8%、母から55.7%の賛成をえているが、この賛成率は平均を上回りも、下回りもしていない。それは、船員職業に対する直接的な質問となっていないことにあり、第2編の保護者の直接的な態度からみて、有意な結果ではない。

## C 海事の経験や知識の程度

### 1 海への興味や魅力

海への興味や魅力について、中学校ではロマンを感じる14.8%、男らしさを感じる9.7%、かっこよさを感じる5.1%、親しみを感じる25.4%、おおらかさを感じる35.5%、その他9.5%であり、高校ではそれぞれ18.2%、12.1%、3.9%、16.1%、38.7%、11.0%である。

このように、中学校と高校では大きな違いはないが、男女別ではかなりの違いがあり、

男子は男らしさを感じる、女子はおおらかさを感じるの比率が、他に比べ高い。学校別でもかなりの違いが認められる。

船員志望男子は非志望男子に比べ、男らしさを感じるや親しみを感じるの比率が高いが、おおらかさを感じるやその他の比率は低い。

### 2 海事経験

船に乗ったり、港などに行ったり、あるいは見学したことがあるかについて、質問した。

いずれの場合であっても、男子は女子に比べ、その比率がおおむね高くでている。

旅客船・遊覧船やフェリーについては70、80%の生徒、また釣り船については男子の約50%が乗船経験を持っている。そうしたレジャー関係の船舶は、相当程度、生徒に馴染まれた存在となっているかのようなのである。

それに対して、貨物船・タンカーについては、乗船が10%弱、見学が約20%にとどまる。それでも、漁船については、乗船、見学がそれぞれ約20%強となっている。それらの乗船や見学の内容は、回答者の判断によるが、生徒にとって商船より漁船の方が、馴染んでいるかのようなのである。

それに対応して、外国船も入る港については約50%強、漁港や魚市場については70%以上の生徒が、そこへ行ったことがあるとしている。ただ、港に行ったとしても、船を見学するまでになっていないことになる。

大きな工場については約60%、小さな工場については約65%の生徒が見学している。これからみれば、商船、漁船への接触は低いこととなる。

船員志望男子と非志望男子とでは、レジャー

の関係の船舶や港などについては違いがほとんどないが、貨物船・タンカーについては17.5%、4.7%、また漁船については38.8%、26.5%というように、かなりの違いがある。

### 3 海事知識

海運、漁業やそれら船員のことについて、どれくらいの知識があるか、あるいはどういったことに関心があるかについて、質問してみた。

#### ① 海運について

海運については、12の設問について、正解や評価を求めた。

まず、正解の項目では、

- ・日本海運の運航船腹量は、世界第1位がさしあたって正解であるが、2位を選んだものも少なくない。諸般の実情から、誤答とはいえない。
- ・日本海運は輸入物資のうちどれくらいを運んでいるかは、大部分が正解であるが、それを選んだ比率が50%を超えるものの、半分を選んだものも少なくない。
- ・日本海運が運ぶ輸入物資で最も多いのは、石油が正解であるが、これについては、設問のなかで、最も正解率が高い。
- ・日本郵船は日本一の船会社であるは、はいが正解であるが、正解率はきわめて低く、しかも不明が約70%にも及んでいる。
- ・外航船では外国人と一緒に働くこと(混乗)があるは、はいが正解である。正解率は約60%弱と高く、誤答率は10%以下であるが、不明が30%強となっている。
- ・船員は高度な適性と訓練が必要であるは、はいが正解であるが、正解率は約70%と高い。
- ・外航船員の年間の下船休暇は約何ヶ月かは、

3ヶ月が正解であるが、正解率は約25%にとどまる。

次に、評価の項目では、

- ・日本海運の現在の景気はどうかは、不明が約50%にも及び、好況と不況がそれぞれ約25%となっている。
- ・日本海運の景気の見通しはどうかは、上向きと下向きとがそれぞれ約25%、現状維持が約50%になっている。
- ・船員は雇用の安定している職業であるは、不明が約50%にも及ぶ。はいは約20%にとどまり、いいえが30%弱となっている。
- ・船員の給料は他に比べて高い方であるは、不明が約40%にも及ぶが、はいは約40%で、いいえの約15%をかなり上回っている。
- ・日本海運は国にとって重要な部門であるは、約70%がはいと答えており、設問のなかで、高い評価となっている。

こうした全体の傾向のなかにあって、男子は女子にくらべ、また船員志望男子は非志望男子にくらべ、正解率がおおむね高く、また評価の程度が高いという特徴がある。

#### ② 漁業について

漁業については、現在、問題や話題になっている事項のなかから、関心のあるものを3つ選ばせた。

その上位5位は、中学校では自然や環境の保護52.4%、国際的な200海里漁業問題44.6%、魚などの資源を増やし育てる漁業42.9%、航海の長い漁船の生活26.1%、漁船に乗り組む船員が少ない20.4%となり、高校では3位と4位の順序が入れ替わるが、それぞれ53.7%、48.2%、23.2%、27.9%、19.8%となった。それら以外の項目は、20%位以下であ

る。

船員志望男子は非志望男子にくらべ、自然や環境の保護や魚などの資源を増やし育てる漁業への関心は低いが、漁船に乗り組む船員が少ないへの関心は高い。

#### 4 船員養成機関の認知

船員を養成する学校について、知っているか、いないかを質問した。

その結果を、男子に限って述べると、それを知っている比率は、中学校では商船大学14.0%、商船高等専門学校19.3%、国立海員学校23.9%、水産系大学(学部)18.6%、水産高校70.8%であり、高校ではそれぞれ27.9%、24.3%、26.8%、45.1%、83.4%である。

中学校から高校になると、それらの認知度はかなり高まる。商船系学校は水産系学校にくらべ、その認知度はかなり低い。そうしたなかであって、認知度が最も高いのは水産高校である。また、男女別では、男子は女子にくらべて、それら学校の認知度は一応、高い。

船員志望男子は非志望男子にくらべ、また身近に船員ありはなしにくらべ商船系、水産系を問わず、おおむね認知度が高いが、決定的な違いはない。

### D 船員職業について

#### 1 船員職業イメージ

商船あるいは漁船に乗り組む船員という職業に対して、どのようなイメージを持っているかを測定するため、21対の形容詞を用い、それらが左あるいは右に、どの程度片寄っているかを測定する。その結果が、3.00点以下であれば左側の形容詞に、またそれ以上であ

れば右側の形容詞に、イメージを強く持っていることを示す。

#### ① 全体のイメージ

商船船員あるいは漁船船員を問わず、そのイメージはおおむね右側に片寄っている。

より右側に片寄っている項目は、10 はでな—じみな、12 おだやかな—きびしい、15 近い—遠いである。逆に、より左側に片寄っている項目は、4 そう快な—うとうしい、6 強い—弱い、16 活発な—おとなしいである。

この限りで、船員イメージはいわば肯定的な項目よりも、否定的な項目が選ばれている。中学校、高校の生徒とその保護者は船員職業を、一方ではそう快で、強く、活発だとし、他方ではじみで、きびしく、遠いとしている。

#### ② 商船船員と漁船船員のイメージの開き

いま上でみた傾向を前提として、商船船員と漁船船員とでは、おおむね、商船船員のイメージは漁船船員にくらべ左側にかなり片寄っており、また漁船船員のイメージの右側への片寄りは商船船員より激しい。そして、イメージに開きのない項目は7、8、11、17、18、19である。

また、生徒と保護者とは、商船船員については保護者のイメージは生徒より右側により片寄っているが、漁船船員については生徒と保護者のイメージは大きな違いはない。

商船船員と漁船船員とで、大きく異なるイメージは、生徒においては項目1、14にとどまるが、保護者においては項目1、2、12、14、16、20、21と多い。

③ 男女別、学校別生徒のイメージ

(図1、図2)

商船船員のイメージでは、おおむね女子は男子にくらべ右寄り、また高校は中学校にくらべ左寄りとなっている。しかし、いくつかの項目はともかく、多くの項目において、そ

れら属性による開きは少ない。

漁船船員のイメージでは、いま述べたことが、よりいっそう当てはまる。また、漁船船員とのイメージは商船船員より、属性による開きは少ない。

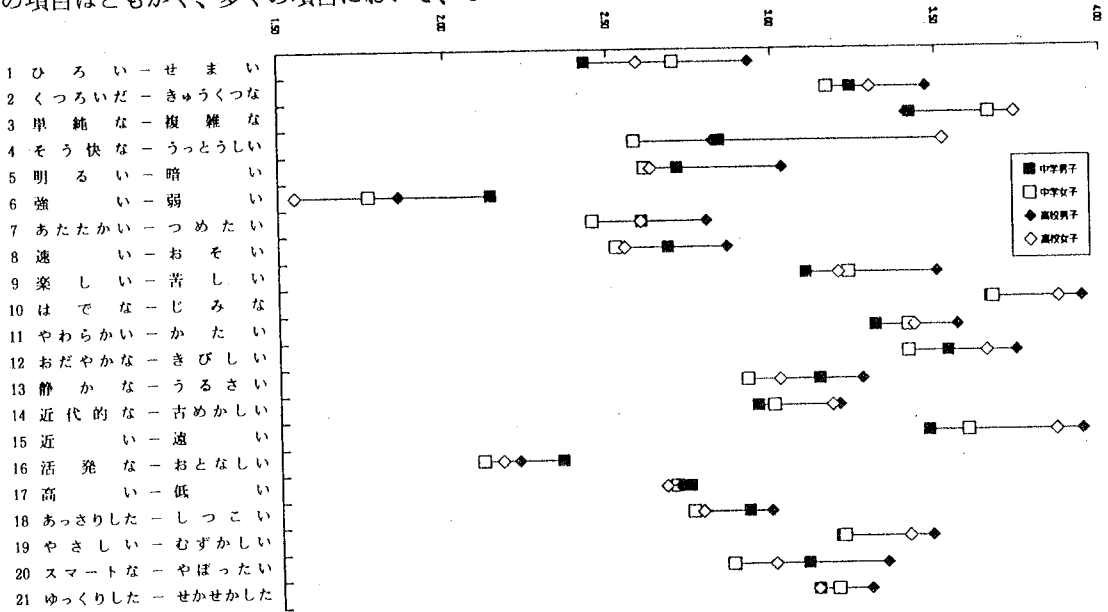


図1 生徒の商船船員の職業イメージの評定結果

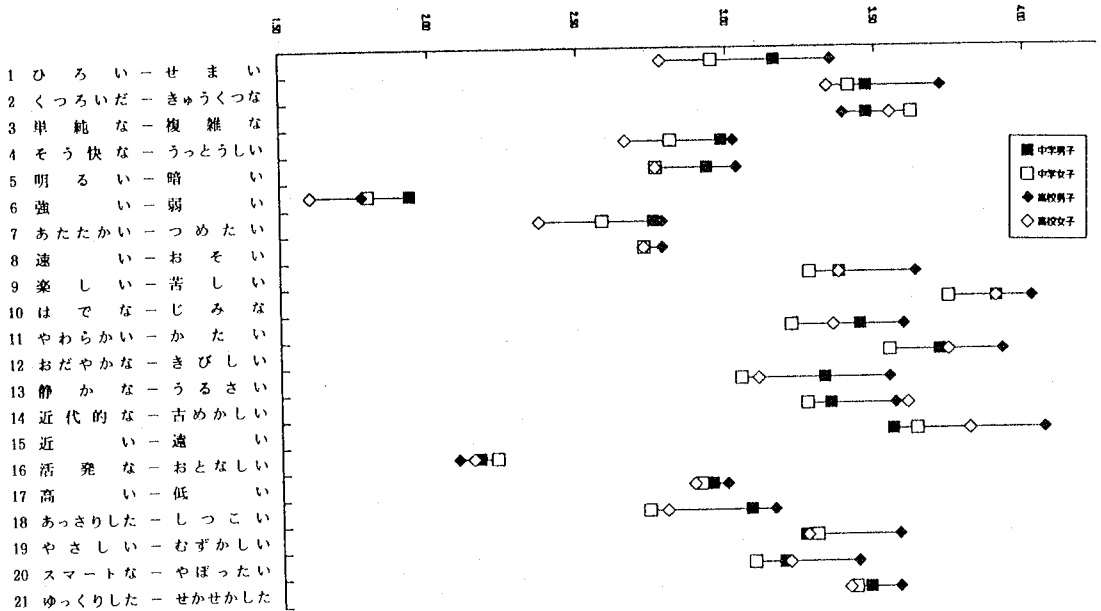


図2 生徒の漁船船員の職業イメージの評定結果

④ 船員志望別の生徒のイメージ

商船、漁船を問わず、船員のイメージについて、船員志望の生徒(女子を含む)は非志望の生徒にくらべ、ほとんどの項目について左寄りとなっている。

その開きの大きい項目は、1 ひろい-せまい、2 くつろいだ-きゅうくつな、5 明るい-暗い、9 楽しい-苦しい、14 近代的-古めかしいである。

船員のイメージについて、全体のイメージを前提にして、船員志望の生徒は非志望の生徒にくらべ、ひろくて、くつろぎがあり、明

るく、楽しく、近代的だとしていることになる。

船員志望の生徒がより左寄りに傾いて、開きのある項目は、1 ひろい-せまい、3 単純な-複雑な、8 速い-おそい、11 やわらかい-かたい、12 おだやかな-きびしいである。逆に、右寄りに傾いて、開きのある項目は、14 近代的な-古めかしいである。

2 生徒の船員職業イメージの構造(表5)

上記の21の項目を用いて、商船船員、漁船船員別に、因子分析を行なった。その因子の抽出は主因子法、回転はバリマックス回転を

表5 生徒の船員職業イメージ因子分析結果

商 船 船 員				漁 船 船 員			
項 目		平均値 負荷量		項 目		平均値 負荷量	
第 I 因子				第 I 因子			
10	は で な - じ み な	3.80	0.593	14	近 代 的 な - 古 め か し い	3.44	0.574
11	や わ ら か い - か た い	3.44	0.577	12	お だ や か な - き び し い	3.74	0.558
12	お だ や か な - き び し い	3.60	0.572	10	は で な - じ み な	3.90	0.553
9	楽 し い - 苦 し い	3.24	0.560	9	楽 し い - 苦 し い	3.42	0.504
15	近 い - 遠 い	3.73	0.543	15	近 い - 遠 い	3.78	0.503
19	や さ し い - む ず か し い	3.34	0.404	20	ス マ ー ト な - や ぼ っ た い	3.23	0.490
固有値=4.22 寄与率=20.1%				固有値=4.32 寄与率=20.6%			
第 II 因子				第 II 因子			
21	ゆ っ くり し - せ か せ か し	3.19	0.524	6	強 い - 弱 い	1.78	0.611
4	た - た	2.70	0.514	5	明 る い - 暗 い	2.88	0.538
2	そ う 快 な - う っ と う し	3.31	0.509	16	活 発 な - お と な し い	2.15	0.493
13	く つ ろ い だ - い	3.10	0.431	8	速 い - お そ い	2.74	0.457
1	静 か な - き ゅう く つ	2.68	0.430	7	あ た た か い - つ め た い	2.63	0.457
固有値=1.43 寄与率=6.8%				固有値=1.50 寄与率=7.1%			
第 III 因子				第 III 因子			
16	活 発 な - お と な し い	2.21	0.655	2	く つ ろ い だ - き ゅう く つ な	3.49	0.735
6	強 い - 弱 い	1.83	0.509	1	ひ ろ い - せ ま い	3.08	0.553
8	速 い - お そ い	2.67	0.475	4	そ う 快 な - う っ と う し い	2.88	0.453
5	明 る い - 暗 い	2.77	0.441	固有値=0.79 寄与率=3.7%			
固有値=0.77 寄与率=3.7%				固有値=0.79 寄与率=3.7%			
累積寄与率=30.6%				累積寄与率=31.5%			

用いた。それによると、それぞれについて3因子が抽出された。

#### ① 商船船員のイメージの構造

商船船員に関する第Ⅰ因子は、10 はでな—じみな、11 やわらかい—かたい、12 おだやかな—きびしいなどの項目からなっている。これら項目は商船船員における仕事の内容や仕事の遠近に係わっているとみられ、その平均点は右側におしなべて片寄っている。

第Ⅱ因子は、21 ゆっくりした—せかせかした、4 そう快な—うっとうしい、2 くつろいだ—きゅうくつなどからなるが、平均点はそのすべてが一方の側に片寄ってはいない。それらは、商船船員の船内の生活やその外部環境に係わっている項目とみられる。

第Ⅲ因子は、16 活発な—おとなしい、6 強い—弱いなどからなるが、平均点はすべて左寄りとなっている。それら項目は、商船船員の気質や立ち振る舞いに係わる項目とみられる。

#### ② 漁船船員のイメージの構造

漁船船員に関する第Ⅰ因子は、商船船員における項目と平均点の傾向を持ち、それら以外では14 近代的な—古めかしいと20 スマートな—やぼったいの負荷量が高い。漁船船員のスタイルに係わる項目がつけ加わっている。

漁船船員に関する第Ⅱ、第Ⅲ因子は、商船船員のそれとまったく入れ替わっている。漁船船員については、商船船員にくらべ、その気質や立ち振る舞いに、より強いイメージがあるかのようである。

### 3 過去の船員志向(表6)

いままでに、商船や漁船に乗組む船員にな

りたいと、思ったことがあるかどうかを質問した。なお、その質問は海運系と水産系とでは選択肢が異なるが、集計は整理した。

中学校では、ぜひ商船の船員になってみたかった男子0.8%(女子0.6)%、一度は商船の船員になってみたかった12.3%(3.4%)、ぜひ漁船の船員になってみたかった2.2%(0.3%)、一度は漁船の船員になってみたかった18.9%(2.2%)、船員になろうと思ったことはない65.8%(93.8%)である。少なくとも、男子において、商船の船員になってみたかったは13.1%、漁船の船員になってみたかったは21.1%となり、前者より後者の志向が強い。

高校では、それぞれ1.9%(0.3%)、10.7%(4.0%)、1.2%(0%)、11.2%(2.3%)、75.0%(93.4%)である。同様に、少なくとも、男子において、商船の船員になってみたかったは12.6%、漁船の船員になってみたかった13.4%となり、この場合前者、後者とも、志向はほぼ同じである。

船員志望男子は、当然ではあるが、商船の船員になってみたかった39.5%、漁船の船員になってみたかった46.2%であり、非志望男子とはまったく志向が異なっている。なお、身近に船員あり、なしによる、船員志向の差はみられない。

中学校と高校では、船員志向の比率がかなり違うが、それはその間、職業選択に変化があったことが影響していよう。それはともかく、20、30%の生徒が船員を志向したことがあったことは、大いに注目されてよい。



表6 過去の船員志向 (%, 人)

		ぜひ、商船の 船員になりたい と思う	一度は、商船の 船員にたたく と思う	ぜひ、漁船の 船員にたたく と思う	一度は、漁船の 船員にたたく と思う	船員になら ない	合計	実数
中学 宮城	男子	0.0	5.9	1.2	20.0	72.9	100.0	85
	女子	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	53
	計	0.0	3.6	0.7	12.3	83.3	100.0	138
中学 神奈川	男子	1.4	11.0	0.0	16.4	71.2	100.0	73
	女子	3.2	3.2	0.0	6.5	87.1	100.0	62
	計	2.2	7.4	0.0	11.9	78.5	100.0	135
中学 富山	男子	3.0	10.4	3.0	20.9	62.7	100.0	67
	女子	0.0	3.1	1.6	4.7	90.6	100.0	64
	計	1.5	6.9	2.3	13.0	76.3	100.0	131
中学 愛媛	男子	0.0	21.9	5.5	15.1	57.5	100.0	73
	女子	0.0	5.2	0.0	0.0	94.8	100.0	77
	計	0.0	13.3	2.7	7.3	76.7	100.0	150
中学 長崎	男子	0.0	13.2	1.5	22.1	63.2	100.0	68
	女子	0.0	4.7	0.0	0.0	95.3	100.0	64
	計	0.0	9.1	0.8	11.4	78.8	100.0	132
中学 合計	男子	0.8	12.3	2.2	18.9	65.8	100.0	366
	女子	0.6	3.4	0.3	2.2	93.4	100.0	320
	計	0.7	8.2	1.3	11.1	78.7	100.0	686
高校 宮城	男子	2.0	9.8	0.7	14.4	73.2	100.0	153
	女子	2.0	9.8	0.7	14.4	73.2	100.0	153
	計	2.0	9.8	0.7	14.4	73.2	100.0	153
高校 神奈川	男子	1.2	13.1	0.0	10.7	75.0	100.0	84
	女子	1.1	3.4	0.0	1.1	94.4	100.0	89
	計	1.2	8.1	0.0	5.8	85.0	100.0	173
高校 富山	男子	3.8	11.5	1.9	5.8	76.9	100.0	52
	女子	0.0	7.0	0.0	5.0	88.0	100.0	100
	計	1.3	8.6	0.7	5.3	84.2	100.0	152
高校 愛媛	男子	0.0	16.1	1.8	10.7	71.4	100.0	56
	女子	0.0	4.2	0.0	2.1	93.8	100.0	96
	計	0.0	8.6	0.7	5.3	85.5	100.0	152
高校 長崎	男子	2.4	6.0	2.4	9.6	79.5	100.0	83
	女子	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	64
	計	1.4	3.4	1.4	5.4	88.4	100.0	147
高校 合計	男子	1.9	10.7	1.2	11.2	75.0	100.0	428
	女子	0.3	4.0	0.0	2.3	93.4	100.0	349
	計	1.2	7.7	0.6	7.2	83.3	100.0	777
船員志望	あり 男	8.7	30.8	7.7	38.5	14.4	100.0	104
	なし 男	0.3	8.6	0.7	11.2	79.3	100.0	690
	あり 女	5.3	47.4	5.3	10.5	31.6	100.0	19
	なし 女	0.3	2.5	0.0	2.0	95.2	100.0	650
身近に	船員あり	1.0	8.7	1.4	11.8	77.1	100.0	735
	船員なし	1.0	7.1	0.5	6.2	85.2	100.0	728
	船員あり	1.0	7.9	1.0	9.0	81.1	100.0	1,463

4 現在の船員志向(表7)

それは現在、どうなっているかをみると、  
同様に、中学校では、商船の船員になってみ

たい男子1.6%(女子1.2)%、漁船の船員になっ  
てみたい3.0%(0.3%)、船員になってもいい  
がはっきりしない13.1%(1.6%)、船員にな

るつもりない82.3%(96.9%)である。高校では、それぞれ1.2%(0.6%)、0.7%(0.3%)、6.3%(1.4%)、91.8%(97.7%)である。

過去から現在にかけて、その期間は不明であるが、船員志向の変化をみると、それがあ  
る比率は中学校では男子34.2%(女子6.6%)

から17.7%(3.1%)、また高校では25.0%(6.6%)から8.2%(2.3%)へと、大幅に減少している。それでも、船員になってもいいがはっきりしないが中心ではあるが、かなりの船員志向がみられることは、大いに注目される。

船員志望男子にあっても、積極的な船員志

表7 現在の船員志向 (% , 人)

			商船の船員 になってみ たい	漁船の船員 になってみ たい	船員になっ てもいいが、 はっきりし ない	船員になる つもりはな い	合 計	実 数
中学 宮 城	男子	子	1.2	1.2	8.2	89.4	100.0	85
	女子	子				100.0	100.0	53
男女合			0.7	0.7	5.1	93.5	100.0	138
中学 神奈川	男子	子		4.1	13.7	82.2	100.0	73
	女子	子	1.6		3.2	95.2	100.0	63
男女合			0.7	2.2	8.8	88.2	100.0	136
中学 富 山	男子	子	1.5	2.9	13.2	82.4	100.0	68
	女子	子	1.5			98.5	100.0	65
男女合			1.5	1.5	6.8	90.2	100.0	133
中学 愛 媛	男子	子	1.4	4.1	21.6	73.0	100.0	74
	女子	子	2.6		3.9	93.5	100.0	77
男女合			2.0	2.0	12.6	83.4	100.0	151
中学 長 崎	男子	子	4.5	3.0	9.0	83.6	100.0	67
	女子	子		1.6		98.4	100.0	63
男女合			2.3	2.3	4.6	90.8	100.0	130
中学 合 計	男子	子	1.6	3.0	13.1	82.3	100.0	367
	女子	子	1.2	0.3	1.6	96.9	100.0	321
男女合			1.5	1.7	7.7	89.1	100.0	688
高校 宮 城	男子	子	1.3	0.7	4.0	94.0	100.0	151
	女子	子						
男女合			1.3	0.7	4.0	94.0	100.0	151
高校 神奈川	男子	子		1.2	7.1	91.7	100.0	84
	女子	子			2.2	97.8	100.0	89
男女合				0.6	4.6	94.8	100.0	173
高校 富 山	男子	子	1.9	1.9	15.4	80.8	100.0	52
	女子	子	2.0	1.0	3.0	94.0	100.0	100
男女合			2.0	1.3	7.2	89.5	100.0	152
高校 愛 媛	男子	子			10.7	89.3	100.0	56
	女子	子				100.0	100.0	96
男女合					3.9	96.1	100.0	152
高校 長 崎	男子	子	2.4		1.2	96.4	100.0	84
	女子	子				100.0	100.0	64
男女合			1.4		0.7	98.0	100.0	148
高校 合 計	男子	子	1.2	0.7	6.3	91.8	100.0	427
	女子	子	0.6	0.3	1.4	97.7	100.0	349
男女合			0.9	0.5	4.1	94.5	100.0	776
船員志望	男子	あり	11.0	14.0	75.0		100.0	100
	女子	あり					100.0	694
男女合			33.3	11.1	55.6		100.0	18
男女合							100.0	652
身近に	男子	あり	1.6	1.2	7.3	89.9	100.0	735
	女子	あり	0.7	1.0	4.3	94.1	100.0	729
男女合			1.2	1.1	5.8	91.9	100.0	1,464

向は大幅に減少しているが、なお現在においても船員志向はなくなっていない。

現在においても、なお船員志向の比率が中学校男子で17.7%、高校男子で8.2%となっていることは、大いに注目するに値するといえる。

#### 5 船員養成機関への志望

現在、船員を志向する生徒(男女とも)は、中学校では694人のうち75人(但し、この質問の回答者は71人)、高校では782人のうち43人(同じく、39人)にとどまるが、それにあたって船員を養成する学校に入るかどうかを質問してみた。

中学校では、商船高専に入りたい33.8%、海員学校に入りたい18.3%、水産高校に入りたい29.6%、商船大学を目指す9.9%、水産系大学を目指す2.8%、すぐ船員になる5.6%となっている。高校では、商船大学に入りたい33.3%、水産系大学に入りたい23.1%、海員学校に入りたい23.1%、すぐ船員になる20.5%となっている。

男女別では、中学校男子は商船高専に入りたい、その女子は水産高校に入りたい、また高校男子は海員学校に入りたい、その女子は商船大学に入りたいを、それぞれ多く選んでいる。

これらを見る限り、船員を志向する生徒が実際に船員になるかどうかは、まずは船員養成機関を志望するかどうかにかかっているかのようなのである。

#### 6 船員志向の理由

さらに、船員志向の理由を、2選択でただしたところ、その上位4位は、中学校ではまえから海の仕事にあこがれていたから27.0%、

サラリーマンと違いおもしろそうだから27.0%、収入が多く休暇も長いから20.9%、休暇になれば家に帰れるから18.4%となっている。

高校では、サラリーマンと違いおもしろそうだから37.5%、まえから海の仕事にあこがれていたから29.2%、クルーズ客船に乗ってみたいから18.8%、ハイテク技術を扱ってみたいから14.6%となっている。

中学校、高校とも、上位2位は同じであるが、前者は勤務条件、後者は仕事内容に関心がよせられている。

#### 7 希望する船種

それでは、どんな船に乗ってみたいかを、2選択でただしたところ、その上位は、中学校では観光船27.1%、漁船24.5%、外国航路の船23.2%、フェリー旅客船23.2%である。高校では、外国航路の船31.4%、官庁の船29.4%、国内航路の船25.5%、漁船23.5%である。中学校と高校では、かなりの違いが認められる。

#### 8 希望職業と船員職業の評価(図3)

前述の将来つきたいと思っている職業(希望職業)と船員職業とについて、14の職業上の諸側面を取り上げ、はい(肯定)、いいえ(否定)、わからないのというかたちで評価を求めた。その結果は、わからないを含めた上で、肯定と否定の比率の差(△%という)をもって示す。なお、希望職業が船員職業の場合においても、それを希望職業として扱う。

##### ① 希望職業の評価

希望職業において、中学校、高校あるいは男女を問わず、△%が30%というきわめて高い評価をえた側面は、

この仕事は、疲れる の肯定  
 この職業は、世間の人の評価が 比較的低い の否定  
 この職業は、自分に向いている の肯定  
 この職業なら、自分の能力が発揮 できる の肯定、である。  
 次いで、同様に、△%が20%というかなり 高い評価をえた側面は、

この仕事は、単調である の否定  
 この職業は、仕事をするとき 環境がよくない の否定  
 この仕事は、身体が汚れる の否定  
 この職業に必要な技能をおぼえたり、 資格をとることがむずかしい の肯定  
 この職業につけば、将来の見通しは 明るい の肯定、である。

## ② 船員職業の評価

船員職業において、中学校、高校あるいは 男女を問わず、△%が30%というきわめて高 い評価をえた側面は、

この仕事は、疲れる の肯定  
 この仕事は、身体が汚れる の肯定  
 この職業は、早朝や深夜に働く ことがある の肯定  
 この職業は、日曜や祝日に休める とは限らない の肯定、である。

次いで、同様に、△%が20%というかなり 高い評価をえた側面は、

この職業は、自分に向いている の否定  
 この職業なら、自分の能力が発揮 できる の否定、である。

それら以外の側面を含めて、中学校、高校 あるいは男女を問わず、船員職業については、

希望職業と違って、きわめて対照的に評価し ている。

## ③ 船員志望別船員職業の評価(男子)

船員志望男子と非志望男子とが、同じ傾向 の評価になっている側面は、

この仕事は、単調である の肯定  
 この仕事は、疲れる の肯定  
 この仕事は、身体が汚れる の肯定  
 この職業は、早朝や深夜に働く ことがある の肯定  
 この職業は、日曜や祝日に休める とは限らない の肯定  
 この職業に必要な技能をおぼえたり、 資格をとることがむずかしい の肯定、である。

逆の傾向の評価になっている側面は、

## 船員志望 非志望

この仕事はなら、自分で仕事の やり方を決められる 肯定 否定  
 この職業なら、自分の望んでい るだけに収入がえられる 肯定 否定  
 この職業は、仕事をするときの 環境がよくない 否定 肯定  
 この職業は、世間の人の評価が 比較的低い 否定 肯定  
 この職業につけば、家庭生活に 恵まれる 肯定 否定  
 この職業につけば、将来の見通 しは明るい 肯定 否定  
 この職業は、自分に向いている の否定  
 この職業なら、自分の能力が 発揮できる 肯定 否定、である。

この仕事は、単純である  
 この仕事は自分で仕事のやり方を決められる  
 この仕事は、疲れる  
 この職業は自分の望んでいる収入がえられる  
 この職業は仕事をするとときの環境がよくない  
 この仕事は、身体が汚れる  
 この職業は、早朝や深夜に働くことがある  
 この職業は日曜や祝日に休めるとは限らない  
 この職業は、世間の人の評価が比較的低い  
 この職業につけば家庭生活に恵まれる  
 この職業に必要な技能や資格がむずかしい  
 この職業につけば、将来の見通しは明るい  
 この職業は、自分に向いている  
 この職業なら、自分の能力が発揮できる

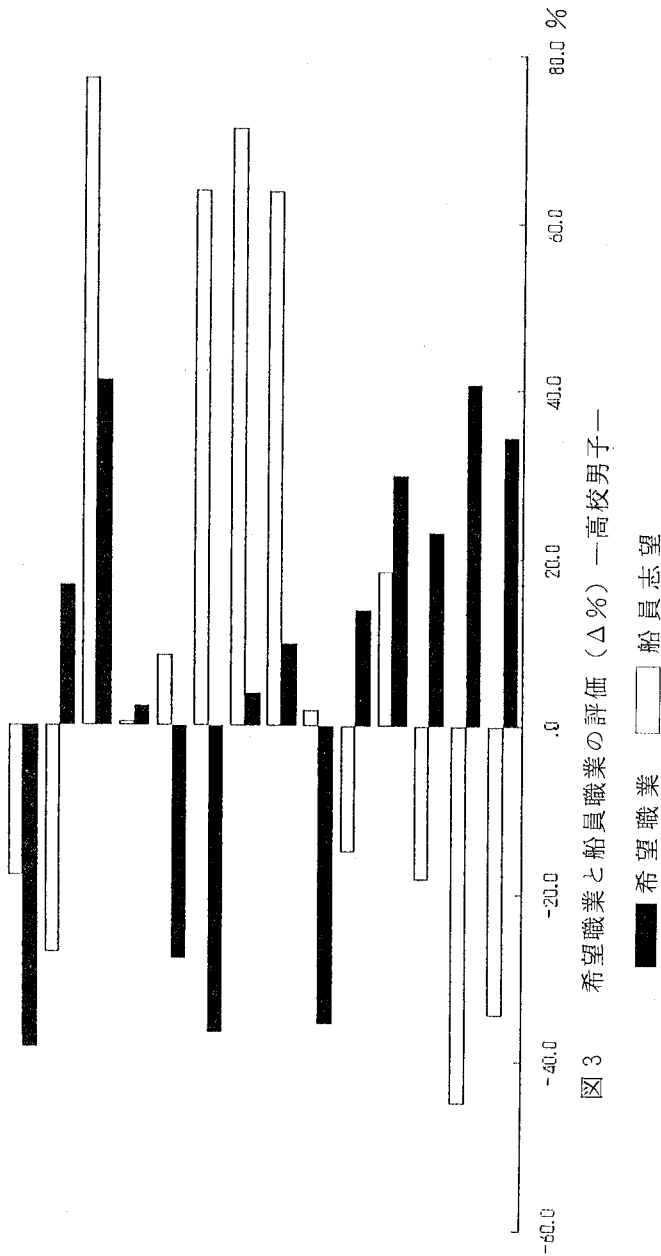


図3 希望職業と船員職業の評価(Δ%) — 高校男子 —

## 2 保護者の意識調査結果

### A 調査の概要

ここでは、中学生および高校生の保護者に対して行った意識調査の結果をまとめたものである。生徒のアンケート調査では生徒自身の進路と併せて船員職業に対する意識を調査したものとなっているが、保護者のこの調査では保護者自身の事柄とともに、子供の進学や就職等の進路に対する考え方を設問したものが中心となっている。

中学や高校の生徒が進学および就職に際して選択する意識なり行動を知るには、生徒自身の意識とともに、保護者の子供に対する願いや希望といった意識をも重ね合わせてみると、生徒の職業選択意識がより理解しやすいものとなる。従って、生徒の意識調査と併せて、保護者の意識調査を実施することとした。

ここで使用する調査結果表は、ことさら断らない限り、中学および高校については地域別に表示した。また、子供の商船なり漁船の船員志望に対する両親の態度表明、すなわち、子息が船員になるのに賛成なのか、反対か、もしくは本人(子供)にまかせるのかについてもみている。

## B 保護者の属性

### 1 回答者の性別(表1)

ここでは回答者の性別を聞いているだけであり、必ずしも保護者の性が男だから父親であり、女が母親とは限らない。しかし、保護者を両親と見立てて男は父親であり、女は母親であるところでは読みとっていくこととする。そうした見方で表1を見ると、中学では父親46.6%(310人)、母親53.4%(355人)、高校ではそれぞれ44.3%(333人)、55.7%(419人)と、いずれも母親の回答数が父親を若干上回るものとなっている。しかし、父親が母親を上回る地域としては、中学、高校とも長崎がある。

表1 父親と母親

		父親	母親	合計	実数
中 学	宮城	40.3	59.7	100	134
	神奈川	48.0	52.0	100	127
	富山	45.9	54.1	100	133
	愛媛	44.7	55.3	100	150
	長崎	55.4	44.6	100	121
	計	46.6	53.4	100	665
高 校	宮城	46.5	53.5	100	155
	神奈川	47.0	53.0	100	168
	富山	39.5	60.5	100	152
	愛媛	39.1	60.9	100	151
	長崎	50.0	50.0	100	126
	計	44.3	55.7	100	752
合 計		45.4	54.6	100	1,417
子 供 船 員 志 向	父 賛	100.0		100	26
	父 反	100.0		100	164
	父本人	100.0		100	440
	母 賛		100.0	100	21
	母 反		100.0	100	246
	母本人		100.0	100	494
	計	45.3	54.7	100	1,391

### 2 保護者の現在の職業(表2)

Q20で就業していると答えたものの職業種類をみると最も多い職業は、①専門・技術的な仕事23.3%、②事務の仕事13.6%、③工場、

建設の仕事12.7%、④サービスの仕事とその他が同数の11.3%、⑥販売の仕事10.3%、⑦管理的な仕事8.2%、⑧農林・水産の仕事5.3%、⑨運輸・通信の仕事4.0%となる。保護者が、商船船員や漁船船員と係わりの深い農林・水産及び運輸・通信の仕事に従事しているものは少ないものとなっている。中学の神奈川と、高校の神奈川、富山には、農林・水産業に従事している保護者はいない。

先ず父親についてみると、①専門・技術的な仕事26.1%、②工場、建設の仕事18.4%、③管理的な仕事13.6%、④サービスの仕事6.7%の順となる。父親の職業には、中・高の差異は少ないものとなっている。

母親は、①事務の仕事21.0%、②専門・技術の仕事20.3%、③その他16.3%、④サービスの仕事16.1%となる。母親の年齢が比較的に若い中学の母親の方に専門的な職業が多く、高校では事務の仕事に就労している者が多いことを示している。

表2 保護者の職業

(%, 人)

		専門技	管理	事務	販売	農水	運・通	工・建	サービス	その他	合計	実数	無回答	
中	宮城	父親	27.5	5.9	5.9	13.7	11.8	5.9	15.7	7.8	5.9	100	51	2
		母親	18.0	1.6	13.1	11.5	13.1		9.8	14.8	18.0	100	61	8
		計	22.3	3.6	9.8	12.5	12.5	2.7	12.5	11.6	12.5	100	112	10
	神奈川	父親	34.5	20.7	6.9	10.3		8.6	3.4	10.3	5.2	100	58	
		母親	12.8	2.6	30.8	7.7				25.6	20.5	100	39	
		計	25.8	13.4	16.5	9.3		5.2	2.1	16.5	11.3	100	97	
富山	父親	25.5	14.5	7.3	10.9	3.6	9.1	16.4	5.5	7.3	100	55	4	
	母親	26.7	5.0	13.3	13.3	8.3		3.3	16.7	13.3	100	60	3	
	計	26.1	9.6	10.4	12.2	6.1	4.3	9.6	11.3	10.4	100	115	7	
学	愛媛	父親	28.1	14.1	4.7	1.6	4.7	12.5	25.0	4.7	4.7	100	64	1
		母親	22.8	1.8	19.3	5.3			7.0	14.0	29.8	100	57	
		計	25.6	8.3	11.6	3.3	2.5	6.6	16.5	9.1	16.5	100	121	1
	長崎	父親	35.4	4.6	1.5	7.7	1.5	3.1	33.8	6.2	6.2	100	65	2
		母親	22.5	2.5	10.0	15.0	5.0		5.0	17.5	22.5	100	40	
		計	30.5	3.8	4.8	10.5	2.9	1.9	22.9	10.5	12.4	100	105	2
計	父親	30.4	11.9	5.1	8.5	4.1	7.8	19.5	6.8	5.8	100	293	9	
	母親	21.0	2.7	16.7	10.5	5.8		5.4	17.1	20.6	100	257	11	
	計	26.0	7.6	10.5	9.5	4.9	4.2	12.9	11.6	12.7	100	550	20	
高	宮城	父親	14.7	17.6	5.9	14.7	13.2	13.2	8.8	7.4	4.4	100	68	3
		母親	22.4	3.0	25.4	10.4	13.4		7.5	10.4	7.5	100	67	8
		計	18.5	10.4	15.6	12.6	13.3	6.7	8.1	8.9	5.9	100	135	11
	神奈川	父親	18.2	20.8	10.4	9.1		9.1	18.2	9.1	5.2	100	77	1
		母親	20.6	1.6	23.8	19.0		3.2	4.8	14.3	12.7	100	63	8
		計	19.3	12.1	16.4	13.6		6.4	12.1	11.4	8.6	100	140	9
富山	父親	23.2	19.6	7.1	17.9		3.6	21.4	3.6	3.6	100	56	1	
	母親	16.7	1.3	29.5	14.1			14.1	17.9	6.4	100	78	2	
	計	19.4	9.0	20.1	15.7		1.5	17.2	11.9	5.2	100	131	3	
愛媛	父親	26.8	12.5	5.4	5.4	7.1	3.6	19.6	5.4	14.3	100	56	1	
	母親	26.5	1.5	22.1	11.8	2.9	1.5	4.4	11.8	17.6	100	68	3	
	計	26.6	6.5	14.5	8.9	4.8	2.4	11.3	8.9	16.1	100	124	4	
長崎	父親	30.0	3.3	10.0	3.3	11.7	5.0	20.0	6.7	10.0	100	60		
	母親	9.1	4.5	18.2		11.4		6.8	25.0	25.0	100	44	2	
	計	21.2	3.8	13.5	1.9	11.5	2.9	14.4	14.4	16.3	100	104	2	
計	父親	22.1	15.1	7.9	10.1	6.3	7.3	17.4	6.6	7.3	100	317	6	
	母親	19.7	2.2	24.4	11.9	5.0	0.9	7.8	15.3	12.8	100	320	23	
	計	20.9	8.6	16.2	11.0	5.7	4.1	12.6	11.0	10.0	100	637	29	
校	合計	父親	26.1	13.6	6.6	9.3	5.2	7.5	18.4	6.7	6.6	100	610	15
		母親	20.3	2.4	21.0	11.3	5.4	0.4	6.8	16.1	16.3	100	577	34
		計	23.3	8.2	13.6	10.3	5.3	4.0	12.7	11.3	11.3	100	1,187	49
子供船員志向	賛成	父親	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3		20.8	8.3	12.5	100	24	
		父親	20.1	12.6	8.8	9.4	5.0	10.1	20.1	7.5	6.3	100	159	3
		本人	28.3	14.3	5.7	9.5	5.2	7.1	17.1	6.4	6.2	100	420	8
	反対	母親		13.3	20.0	6.7	13.3		6.7	13.3	26.7	100	15	
		母親	20.0	2.6	22.6	10.5	5.8		6.8	15.3	16.3	100	190	7
		本人	21.1	1.9	19.7	12.1	4.9	0.5	6.8	16.7	16.2	100	365	22
計	23.2	8.2	13.5	10.4	5.4	4.1	12.6	11.3	11.3	100	1,173	40		

C 保護者の職業選択

1 保護者が憧れた職業

保護者が過去において、大変あこがれた職業や職種を自由に記述してもらい、父親と母親が憧れた職業を多い順位に並べたものが表3(父親)と、表4(母親)である。

1) 父親(表3)

父親が憧れた職業・職種の上位10位をとると、①パイロット、②船員、③会社員、銀行

員、④プロスポーツ選手、⑤外交官、公務員、⑥建設、製造業など、⑥教師、⑧運転手、⑨大工、職人、きこり、⑩自衛隊、警察官、消防士、⑩コック、板前となり、「船員」が上位2位に位置していることは注目されてよい。上位を占めた職業・業種は、男らしく、下積みではあるが社会的に貢献できる憧れの対象であるものが多いものとなっている。

表3 憧れの職業（父親）

(%, 人)

順位	職名	県名	中 学					高 校					合 計							
			宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計
	なし		8	16	14	13	13	64	12	15	10	15	17	69	20	31	24	28	30	133
1	パイロット		2	6	7	6	3	24	4	8	5	5		22	6	14	12	11	3	46
2	船員		3	4		3	5	15	7	8	3	4	6	28	10	12	3	7	11	43
3	会社員、銀行員		4		3	3	5	15	1	7	7	3	5	23	5	7	10	6	10	38
4	プロスポーツ選手		2	7	4	3	9	25	1	2	3	2	2	10	3	9	7	5	11	35
5	外交官、公務員		4	2	3	2	3	14	10	2	4	2	2	20	14	4	7	4	5	34
6	建設、製造業など		4		3	3	6	16	3	3	1	3	2	12	7	3	4	6	8	28
6	教師			2	4	3		9	2	11		3	3	19	2	13	4	6	3	28
8	運転手			2	2	3	3	10	2	1	2	3	5	13	2	3	4	6	8	23
8	大工、職人、きこり		4	2	1	6	1	14	2	1	2	1	3	9	6	3	3	7	4	23
10	自衛隊、警察官、消防士		1	4			3	8	4	3	2		1	10	5	7	2		4	18
10	コック、板前		2	2	1	3	4	12	1	1	1	1	2	6	3	3	2	4	6	18
12	インテリアデザイナー、設計士		3	1	2			6	1	1	1	3	1	7	4	2	3	3	1	13
13	商社マン、セールスマン、デパート		2	1		4		7	1	3	1			5	3	4	1	4		12
14	漁船員		2					2	6			1	2	9	8			1	2	11
14	建設業		1		2		2	5	2	1	1	2	6	1	2	3	1	4		11
15	エンジニア			2	1	1	1	5		1	2	2	5		3	3	1	3		10
15	医師		1			1		2	1	1	1	3	2	8	2	1	1	4	2	10
15	自営業・ホテル経営		2	1	1	1	2	7	2		1			3	4	1	2	1	2	10
18	農業		1		1	1		3	2			3	1	6	3	1	1	4	1	9
19	会計士		1		1	1		3	2	1			1	4	3	1	1	1	1	7
20	社長			1	1	1		3	1		1		1	3	1	1	2	1	1	6
20	電気関係の仕事		2			1		3	2			1		3	4			2		6
20	サービス業				2	2		4		2				2		2	2	2		6
20	マスコミ関係		1		2	1		4			2			2	1		4	1		6
20	造船業					1	2	3	1	1		1		3	1	1		2	2	6
26	J R		1			2		3	1	1				2	1	1	1	2		5
26	カメラマン			1	1			2	1	1	1			3	1	2	2			5
26	弁護士		1	1	1	1		3	3		1	1		2	1	1	1	2		5
29	機械製造業		1		1	1	1	4						1	1	1	1	1	1	4
29	俳優、歌手			1			1	2			1	1		2			2	1	1	4
29	土木技師				1			1		1	1	1		3		1	2	1		4
32	学者、研究者								1		1	1		3	1		1	1		3
32	スチュワード			2				2		1				1		3				3
32	美容師、理容師				2			2					1	1			2		1	3
35	獣医			1				1	1					1	1	1				2
35	国会議員												2	2					2	2
35	画家			1			1	2							1			1		2
36	化学分析						1	1											1	1
36	動物園										1			1			1			1
36	音楽家										1			1			1			1
36	通訳			1				1							1					1
36	検事			1				1							1					1
36	作家										1			1			1			1
36	漫画家						1	1										1		1
36	保父										1			1			1			1
36	薬剤師								1					1	1					1
36	騎士		1					1							1					1
36	仏の修行									1				1		1				1
	計		54	61	61	67	67	310	72	79	60	59	63	333	126	140	121	126	130	643



2) 母親(表4)

次に、母親が憧れた職業・職種を父親同様上位からみていくと、①看護婦、②教師、③保母、④スチュワーデス、⑤OL、秘書、銀行員、⑥美容師、理容師、⑦デザイナー、⑧バスガイド、⑨ブティック経営、自営業、⑩マスコミ関係となる。母親が憧れたこれらの

職業・職種には、女らしい優しみのある職業が上位を占めている。

2 就職するに当たっての重視事項・保護者と子供

学業を終え最初に就職するに当たって、会社等を選ぶのに重視する事項を複数(選択数3つ)で答えてもらったものである。

表4 憧れの職業(母親)

(%, 人)

順位	職名	中 学					高 校					合 計							
		宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計	宮城	神奈川	富山	愛媛	長崎	計
	なし	29	18	17	22	20	106	28	19	25	25	27	124	57	37	42	47	47	230
1	看護婦	5	4	10	9	6	34	4	3	15	12	7	41	9	7	25	21	13	75
2	教師	4	8	6	7	2	27	8	13	9	8	5	43	12	21	15	15	7	70
3	保母	10	2	7	10	4	33	5	6	5	12	2	30	15	8	12	22	6	63
4	スチュワーデス	5	11	4	11	2	33	4	11	8	5	1	29	9	22	12	16	3	62
5	OL、秘書、銀行員	3	1	7	6	3	20	6	11	7	4	1	29	9	12	14	10	4	49
6	美容師、理容師	5	4	4	2	5	20	5	3	4	6	6	24	10	7	8	8	11	44
7	デザイナー	3	2	4	4	1	14	7	2	4	2	2	17	10	4	8	6	3	31
8	バスガイド	2	3	2	2	5	14	1	3	3	2	6	15	3	6	5	4	11	29
9	ブティック経営、自営業	4	2	1	2	2	9	2	2		1		5	6	4	1	3		14
10	マスコミ関係	1		1	2	1	5	1	6				7	2	6	1	2	1	12
11	外交官、公務員		1	2			3	3		1	1	2	7	3	1	3	1	2	10
12	芸能関係	1					1			4	4		8	1		4	4		9
13	サービス業	1		1	1		3	1	1	1	1		4	2	1	2	2		7
14	薬剤師、検査技師	2			1		3		3				3	2	3		1		6
14	栄養士	1		1			2	3		1			4	4		2			6
14	医師			1	2	1	4			1	1	1	2		2	2	2	2	6
17	会計士	1					1	2		1	1		4	3	1	1	1		5
17	バレリーナ、芸術家			1			1	1		1	1	1	4	1		2	1	1	5
19	警察官	1				1	2			2	2		2	1		2	2	1	4
20	習いもの教師								1		2		3		1		2		3
20	通訳		1	1			2		1				1		2	1			3
20	画家	1		1	1		3							1		1	1		3
20	店員		1		1		2					1	1		1	1	1		3
20	学者			1		1	2			1			1		2		1	1	3
25	カメラマン		1				1		1				1		2				2
25	設計士		1				1	1					1	1	1				2
25	パイロット		1				1			1			1		1		1		2
25	家政婦、ホームヘルパー					1	1				1		1					2	2
25	図書館司書		2				2							2					2
25	女工	1					1	1					1	2					2
31	プログラマー								1				1		1				1
31	ウェイトレス					1	1											1	1
31	エレベーターガール		1				1								1				1
31	船員		1				1								1				1
31	政治家		1				1								1				1
31	社長									1			1				1		1
31	農業								1				1		1				1
31	運送業									1			1				1		1
31	イラストレーター								1				1		1				1
31	スポーツ選手								1				1		1				1
	計	80	66	72	83	54	355	83	89	92	92	63	419	163	155	164	175	117	774

保護者が子供の就職に当たって重視するものをみると、①仕事が自分の性格にあっている61.6%、②将来性がある51.6%、③経営が安定している43.5%、④通勤に都合がよい24.6%、⑤初任給や給与が高い17.5%、⑥会社の規模が大きい15.3%、⑦事業内容に興味がある14.8%、⑧社風がよい14.5%、⑨休日や休暇が多く、残業が少ない11.0%、⑩有名な会社4.3%、⑪外地勤務の機会がある1.3%、⑫その他0.6%となる。

父親と母親による違いをみると、上位4位までは両者には違いがなく、5位以下になると父親は、⑤会社の規模が大きい16.5%、⑥初任給や給与が高いと、社風がよい、事業内容に興味があるの3つがともに16.2%、⑨休日や休暇が多く、残業が少ない12.1%、⑩有名な会社5.4%、⑪外地勤務の機会がある1.1%、⑫その他0.6%となる。母親では、⑤初任給や給与が高い18.4%、⑥会社の規模が大きい14.4%、⑦事業内容に興味がある13.7%、⑧社風がよい13.2%、⑨休日や休暇が多く、残業が少ない10.1%、⑩有名な会社3.3%、⑪外地勤務の機会がある1.5%、⑫その他0.4%となる。

## D 子供の進路

### 1 進路相談・進学・就職

子供が進学や就職を決める時に、保護者として相談してもらいたいかどうかについて聞いたものである。

#### 1) 進学

進学に際して、ぜひ相談してもらいたい68.9%、相談されれば応じる29.4%、相談されなくても構わない1.7%であり、ぜひ相談

してもらいたと相談に応じるを合わせた98.3%の保護者は相談するとなっている。父親と母親をみると、中学・高校問わず母親の方がぜひ相談してもらいたいが多く、教育には母親が熱心である今日の状況を反映した結果となっている。

#### 2) 就職

就職の場合をみると、ぜひ相談してもらいたい68.9%、相談に応じる28.8%、相談されなくてもかまわない2.3%となり、進学に際するものとそれほどの違いはないものとなっている。また、進学同様に母親は父親以上に相談してもらいたいとしているが、進学ほどの父・母の違いによる差異は少ないものとなる。

#### 2 子供に就職してもらいたい職業

子供に就職してもらいたい職業を上位からみると、①専門・技術的な仕事48.6%、②本人が決めれば良いので、特にない29.8%、③事務の仕事10.8%、④管理的な仕事4.2%、⑤その他1.7%となり、ホワイトカラー的な仕事を選択されている。運輸・通信及び農林・水産業等は保護者の支持も極めて低いものとなっている。

父親と母親も、上位4位までは同じ職業を希望しているが、5位以下は、父親では⑤その他2.4%、⑥工場、建設の仕事、⑦農林・水産の仕事と、サービスの仕事と同数の1.4%、⑨運輸・通信の仕事0.6%、⑩販売の仕事0.5%となり、母親は、⑤サービスの仕事1.3%、⑥その他1.1%、⑦販売の仕事と運輸・通信の仕事、工場、建設の仕事が同数の0.9%、⑩農林・水産の仕事0.3%となる。

子供が船員になることに賛成である父親や

母親では、農林・水産の仕事(賛成父親4.2%)や運輸・通信の仕事(賛成母親4.8%)を希望する率も高いものとなっている。

### 3 国際化との係わりで、子供の職業選択をみる

今日、わが国はあらゆる分野で国際化が進み、日本人が外国に行きたくて働くだけでなく、外国人も数多く日本に来て働いている。従って、これから就業していく若者にとっても職場等で外国人と接触する機会も多いものとなり、保護者として、子供が外国人とどう係われればよいのかを聞いてみた。

#### 1) 外国人と一緒に働くこと

まず、子供が外国人と一緒に働くようになるのは、成り行きだと思うかを聞くと、中学、高校ともに、今日の国際化を反映して8割以上の親は、子供が外国人と一緒に働くようになるのは成り行きだと考えている。中学の保護者の方が高校よりも、成り行きだと考える者が多い。

父親と母親では、回答にほとんど差異のないものとなっている。

#### 2) 外国人経営の職場で働くこと

外国人が経営する職場で働くといった場合、先の一緒に働くほどの支持はないが、6割(高校)から7割(中学)の親は賛成している。しかし、子供が就職するのが間近になっている高校の親に反対するものが若干ではあるが多いものとなる。

#### 3) 外国での就職

子供が外国に行きたくて働くとした場合、賛成するかを聞くと、先の2つの設問とはまったく逆転した反応となり、6割の保護者は外国に行きたくて子供が働くことには反対している。

しかし、子供が船員になることを賛成している保護者は、父親で6割が賛成しており、船員職業選択と国際化は早くから認識されたものとなっていることを示している。

## E 船員職業

### 1 商船系、水産系学校への進学希望に対する保護者の態度(表5)

仮定の問題として、子供が船員になる、ならないは別として、商船系、もしくは水産系の学校に進学を希望したいといった場合に、保護者として、賛成するのか、反対するのか、あるいは本人にまかせるのかを聞いた。

いずれの学校を志望するにしても、本人にまかせるが7割近くを占め、商船系、水産系学校への進学に当たっての最も多い保護者の態度ということが出来る。しかし、「賛成」と「反対」の数をみると、賛成が反対を上回っているのは商船大学への進学だけとなっている。

しかし、その商船大学への進学も、父親と母親では態度が違い、父親は賛成が反対を上回るが、母親では反対が賛成の数よりも多いものとなっている。

商船高等専門学校と水産高校は、両親とも反対が賛成を上回っており、国立海員学校、水産系大学では、父親に賛成が多く、母親には反対が多いものとなっている。また、商船系、水産系への進学はいずれも2割を切る低いものとなっているが、どちらかと言えば商船系の学校への進学を賛成する保護者は水産系よりも若干なりとも多いように見受けられる。

反面、子供が船員になることに賛成である

保護者は、いずれも7割近くがこれらの学校へ進学することを賛成しており、これらの学

校が船員養成機関であることが充分承知されていることを物語っているものと思われる。

表5 商船系・水産系学校への進学希望に対する態度

学 校	商 船 大 学				商船高等専門学校				国立海員学校				水産系大学				水 産 高 校				
	賛成	反対	本人	実数	賛成	反対	本人	実数	賛成	反対	本人	実数	賛成	反対	本人	実数	賛成	反対	本人	実数	
中 学	父親	34.0	14.9	51.1	47	25.0	27.1	47.9	48	6	28.9	20.0	51.1	45	9	32.6	21.7	45.7	46	8	
	母親	13.0	10.1	76.8	69	8.8	19.1	72.1	68	12	11.8	13.2	75.0	68	12	6.0	16.4	77.6	67	13	
	計	21.6	12.1	66.4	116	18	15.5	22.4	116	18	18.6	15.9	65.5	113	21	16.8	18.6	64.6	113	21	
	神奈川父親	25.9	5.2	69.0	58	3	19.3	22.3	68.4	57	4	26.3	8.8	64.9	57	4	19.0	8.6	72.4	58	3
	母親	7.9	11.1	81.0	63	3	4.8	17.5	77.8	63	3	11.1	9.5	79.4	63	3	4.8	12.7	82.5	63	3
	計	16.5	8.3	75.2	121	6	11.7	15.0	73.3	120	7	11.6	10.7	77.2	121	6	9.9	17.5	77.8	63	3
	富山父親	18.6	16.9	64.4	59	2	15.3	20.3	64.4	59	2	20.0	15.0	65.0	60	1	11.9	16.9	71.2	59	2
	母親	11.3	16.9	71.8	71	1	15.7	15.7	68.6	70	2	14.3	12.9	72.9	70	2	20.0	17.1	62.9	70	2
	計	14.6	16.9	68.5	130	3	15.5	17.8	66.7	120	4	16.9	13.8	69.2	130	3	16.3	17.1	66.7	129	4
	愛媛父親	24.6	18.0	57.4	61	6	21.3	23.0	55.7	61	6	25.0	16.7	58.3	60	7	24.2	19.4	56.5	62	5
母親	22.2	16.0	61.7	81	2	15.2	20.3	64.6	79	4	17.7	19.0	63.3	79	4	16.7	19.2	64.1	78	5	
計	23.2	16.9	59.9	142	8	17.9	21.4	60.7	140	10	20.9	18.0	61.2	139	11	20.0	19.3	60.7	140	10	
高 校	長崎父親	21.0	16.1	62.9	62	5	15.0	18.3	66.7	60	7	21.3	14.8	63.9	61	6	16.4	19.7	63.9	61	6
	母親	9.8	9.8	80.4	51	3	13.7	13.7	72.5	51	3	8.0	14.0	78.0	50	4	9.8	13.7	76.5	51	3
	計	15.9	13.3	73.4	113	8	14.4	16.2	69.4	111	10	15.3	14.4	70.3	111	10	13.4	17.0	69.6	112	9
	神奈川父親	20.3	10.8	68.9	74	3	13.0	11.6	75.4	69	10	17.6	16.2	66.2	74	5	15.3	9.7	75.0	72	7
	母親	11.9	17.9	70.2	84	5	7.4	19.8	72.8	81	8	8.6	21.0	70.4	81	8	9.9	17.3	73.8	81	8
	計	15.8	14.6	69.6	158	10	10.0	16.0	74.0	150	18	12.9	18.7	68.4	155	13	12.4	13.7	73.9	153	15
	富山父親	17.9	25.0	57.1	56	4	11.8	27.5	60.8	51	9	11.5	17.3	71.2	52	8	11.3	20.8	67.9	53	7
	母親	6.9	28.7	64.4	87	5	7.1	33.3	59.5	84	8	5.9	30.6	63.5	85	7	3.5	36.0	60.5	86	6
	計	11.2	27.3	61.5	143	9	8.9	31.1	60.0	135	17	8.0	25.5	66.4	137	15	6.5	30.2	63.3	139	13
	愛媛父親	15.8	14.0	70.2	57	2	13.2	18.9	67.9	53	6	10.9	10.9	76.2	55	4	9.4	13.2	77.4	53	6
母親	12.0	16.3	71.7	92	2	5.5	19.8	74.7	91	1	4.4	17.6	78.0	91	1	2.2	15.4	82.4	91	1	
計	13.4	15.4	71.7	149	2	8.3	19.4	72.2	144	7	6.8	15.1	78.1	146	5	4.9	14.6	80.6	144	7	
校	長崎父親	22.2	5.6	72.2	54	9	18.2	5.5	76.4	55	8	19.2	7.7	73.1	52	11	14.5	7.3	78.2	55	8
	母親	14.5	12.7	72.7	55	8	21.6	9.8	68.6	51	12	10.0	16.0	74.0	50	13	14.3	16.3	69.4	49	14
	計	18.3	9.2	72.5	109	17	19.8	7.5	72.6	106	20	14.4	11.3	74.0	104	24	14.4	11.3	74.0	104	24
	富山父親	20.6	13.1	66.3	306	27	14.5	14.9	70.6	289	44	16.3	12.5	71.2	295	38	14.7	11.6	73.7	293	40
	母親	13.2	19.0	67.8	395	24	9.5	23.9	66.6	377	42	7.9	23.0	69.0	378	41	7.4	23.8	69.8	377	42
	計	16.4	16.4	67.2	701	51	11.7	20.0	68.3	666	86	11.6	18.4	70.0	673	79	10.5	17.9	71.5	670	82
	愛媛父親	22.4	13.7	63.9	593	50	16.7	17.4	65.9	574	69	20.1	13.7	66.2	578	65	17.4	14.3	68.3	579	64
	母親	13.3	16.3	70.4	730	44	10.5	20.9	68.5	708	66	10.3	18.8	70.8	708	66	9.5	19.7	70.8	706	68
	計	17.4	15.1	67.5	1,323	94	13.3	19.3	67.4	1,282	135	14.7	16.5	68.8	1,286	131	13.1	17.3	69.6	1,285	132
	水産系大学	賛成	66.7	33.3	24	2	59.1	9.1	31.8	22	4	60.9	4.3	34.8	23	3	68.2	4.5	27.3	22	4
反対	13.6	42.9	43.5	147	17	11.3	49.6	39.0	141	23	13.9	44.4	41.7	144	20	11.0	43.8	45.2	146	18	
本人	22.5	4.3	73.2	414	26	15.6	6.9	77.4	403	37	19.1	3.5	77.4	403	37	15.1	4.5	79.4	403	37	
計	16.4	16.4	67.2	701	51	11.7	20.0	68.3	666	86	11.6	18.4	70.0	673	79	10.5	17.9	71.5	670	82	
水産高校	賛成	8.2	43.8	48.1	233	13	5.7	49.3	49.0	229	17	5.8	48.2	46.0	228	20	5.3	47.3	226	20	
反対	13.4	3.6	88.0	475	18	10.9	7.6	81.5	460	34	10.6	5.2	84.3	464	30	9.5	6.9	83.5	461	33	
本人	17.2	15.3	67.6	1,311	80	13.1	19.3	67.4	1,272	119	14.4	16.6	69.0	1,276	115	12.7	17.4	69.9	1,274	117	
計	17.2	15.3	67.6	1,311	80	13.1	19.3	67.4	1,272	119	14.4	16.6	69.0	1,276	115	12.7	17.4	69.9	1,274	117	

## 2 船員職業に対するイメージ

### 1) 全体のイメージ(図1)

商船や漁船に乗り組んでいる船員という職業に対して、どのようなイメージを持っているか、イメージにつながる正反対な21の形容詞の度合い、例えば、①「非常に忙しい」、②「やや忙しい」、③「どちらともいえない」、④「ややひまな」、⑤「非常にひまな」の5ランクから、イメージを選択してもらった。

全般的には、生徒のイメージと同じく「船員イメージは」否定的に見ているため右側に片寄っている。中でも、否定的な項目としては、12 おだやかなーきびしい、15 近いー遠いがある。一方、左側に片寄っている肯定的なものとして、6 強いー弱い、16 活発なーおとなしいがある。

### 2) 商船船員と漁船船員のイメージの開き(図1)

全体的に、漁船船員に対するイメージの方

が商船船員に対するイメージよりも否定的なものが強調されたものとなっている。しかし、6 強いー弱いと16 活発なーおとなしいは漁船船員のイメージは肯定的なものが、やはり強調されている。

### 3) 保護者の船員職業イメージの構造(表6)

#### ① 商船船員のイメージの構造

商船船員に関する第I因子は、16 活発なーおとなしい、6 強いー弱い、8 速いーおそい、5 明るいー暗い、17 高いー低い、4 そう壮快なーうとうしいなどがあり、商船船員の総合的なイメージからくるものと思われる。

第II因子としては、12 おだやかなーきびしい、9 楽しいー苦しい、11 やわらかいーかたいといった、仕事の内容に係わる項目からなっている。

第III因子は、21 ゆっくりしたーせかせかした、13 静かなーうるさい、スマートなー

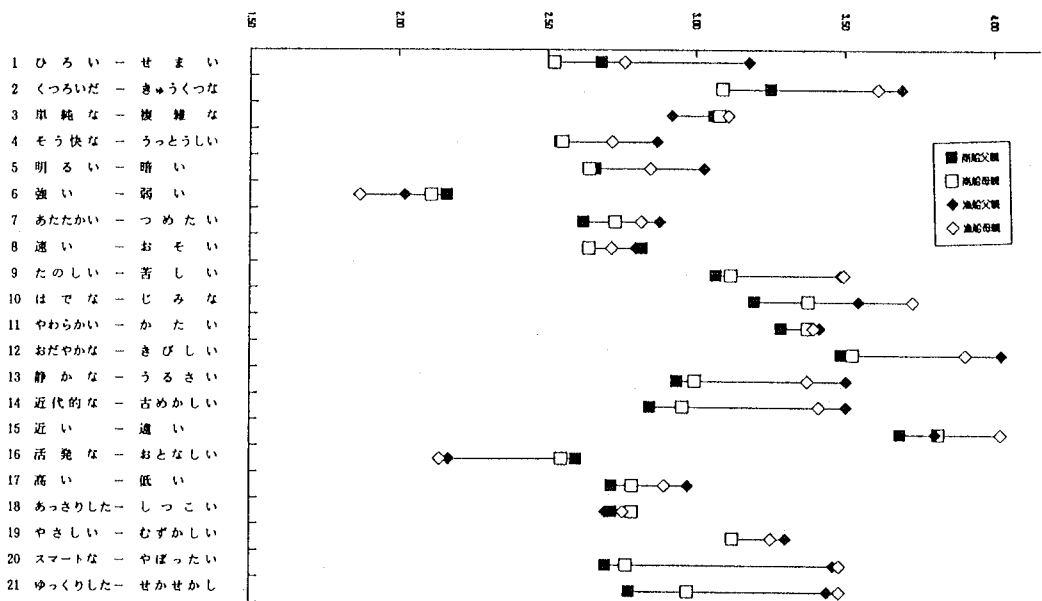


図1 保護者の船員職業イメージ評定結果

やぼったいからなり、商船船員の気質や様相に係わる項目からなっている。

### ② 漁船船員のイメージの構造

漁船船員での第Ⅰ因子は、6 強いー弱い、5 明るいー暗い、4 そう快なーうっとうしいなどがあり、これらは商船船員に対するイメージよりも負荷量が高く、より強調されたイメージを作り出している。

第Ⅱ因子では、15 近いー遠い、10 はでなーじみな、9 楽しいー苦しい、12 おだやかなーきびしいなどがあり、遠洋航海による海上生活の長さや漁船船員の気質を反映した項目からなっている。

第Ⅲ因子は、商船船員と同様の21 ゆっくりしたーせかせかした、13 静かなーうるさいからなり、漁船船員の気質や立ち振る舞い

に、より強いイメージがあるものとなっている。

### 3 子供が船員になることに対する保護者の態度(表7)

もし子供が商船なり、漁船の船員になりたいと言いだしたと仮定した場合、保護者の態度として、賛成するのか、反対するのか、もしくは言いだした子供本人にまかせるのかを聞いた。

#### 1) 商船船員になると言いだしたら

本人にまかせるが56.7%と6割近くを占めるが、反対するは37.4%、賛成するはわずか5.9%でしかない。父親と母親における違いはさほど見受けられないが、どちらかといえれば母親の方に反対とする者が多いようである。

地域的に、宮城の中学、高校の父親と、神

表6 保護者の船員職業イメージの因子分析結果

(%, 人)

商船船員				漁船船員					
項目		平均値	負荷量	項目		平均値	負荷量		
第Ⅰ因子				第Ⅰ因子					
16	活発な	— おとなしい	2.57	0.592	6	強い	— 弱い	1.94	0.651
6	強い	— 弱い	2.13	0.559	5	明るい	— 暗い	2.94	0.636
8	速い	— おそい	2.73	0.554	4	そう快な	— うっとうしい	2.79	0.616
5	明るい	— 暗い	2.65	0.542	16	活発な	— おとなしい	2.15	0.553
17	高い	— 低い	2.76	0.512	17	高い	— 低い	2.94	0.456
4	そう快な	— うっとうしい	2.54	0.484	7	あたたかい	— つめたい	2.84	0.447
18	あっさりした	— しつこい	2.76	0.440					
固有値=4.68 寄与率= 22.3%				固有値=4.45 寄与率= 21.2%					
第Ⅱ因子				第Ⅱ因子					
12	おだやかな	— きびしい	3.51	0.708	15	近い	— 遠い	3.93	0.601
9	楽しい	— 苦しい	3.10	0.575	10	はでな	— じみな	3.65	0.580
11	やわらかい	— かたい	3.34	0.521	9	楽しい	— 苦しい	3.50	0.525
15	近い	— 遠い	2.76	0.521	12	おだやかな	— きびしい	3.97	0.509
2	くつろいだ	— きゅうくつな	3.16	0.401	11	やわらかい	— かたい	3.41	0.463
固有値=1.47 寄与率= 7.0%				固有値=1.58 寄与率= 7.5%					
第Ⅲ因子				第Ⅲ因子					
21	ゆっくりした	— せかせかした	2.88	0.688	21	ゆっくりした	— せかせかした	3.47	0.599
13	静かな	— うるさい	2.97	0.507	13	静かな	— うるさい	3.44	0.516
20	スマートな	— やぼったい	2.74	0.427					
固有値=0.82 寄与率= 3.9%				固有値=0.66 寄与率= 3.2%					
累積寄与率=33.2%				累積寄与率=31.9%					

表7 子供が船員になるのに対する保護者の態度

(%, 人)

		商船船員					漁船船員					
		賛成	反対	本人	実数	無回答	賛成	反対	本人	実数	無回答	
中	宮城	父親	12.2	38.8	49.0	49	5	12.2	40.8	46.9	49	5
		母親	5.3	41.3	53.3	75	5	4.1	41.9	54.1	74	6
		計	8.1	40.3	51.6	124	10	7.3	41.5	51.2	123	11
	神奈川	父親	5.0	25.0	70.0	60	1	8.5	22.0	69.5	59	2
		母親	3.1	32.3	64.6	65	1	6.2	29.2	64.6	65	1
		計	4.0	28.8	67.2	125	2	7.3	25.8	66.9	124	3
	富山	父親	6.9	34.5	58.6	58	3	1.8	34.5	63.6	55	6
		母親	4.2	43.1	52.8	72		5.6	43.1	51.4	72	
		計	5.4	39.2	55.4	130	3	3.9	39.4	56.7	127	6
	愛媛	父親	4.5	40.9	54.5	66	1	7.8	39.1	53.1	64	3
		母親	4.8	36.1	59.0	83		7.4	40.7	51.9	81	2
		計	4.7	38.3	57.0	149	1	7.6	40.0	52.4	145	5
長崎	父親	6.0	40.3	53.7	67		9.2	40.0	50.8	65	2	
	母親	4.1	44.9	51.0	49	5	9.4	34.0	56.6	53	1	
	計	5.2	42.2	52.6	116	5	9.3	37.3	53.4	118	3	
計	父親	6.7	36.0	57.3	300	10	7.9	35.3	56.8	292	18	
	母親	4.4	39.2	56.4	344	11	6.4	38.3	55.4	345	10	
	計	5.4	37.7	56.8	644	21	7.1	36.9	56.0	637	28	
高	宮城	父親	11.3	39.4	49.3	71	1	9.1	37.9	53.0	66	6
		母親	6.5	46.8	46.8	77	6	2.6	50.0	47.4	76	7
		計	8.8	43.2	48.0	148	7	5.6	44.4	50.0	142	13
	神奈川	父親	10.3	28.2	61.5	78	1	7.8	29.9	62.3	77	2
		母親	1.2	32.9	65.9	85	4	1.2	36.5	62.4	85	4
		計	5.5	30.7	63.8	163	5	4.3	33.3	62.3	162	6
	富山	父親	5.2	41.4	53.4	58	2	6.9	53.4	39.7	58	2
		母親	1.1	48.9	50.0	88	4		57.3	42.7	89	3
		計	2.7	45.9	51.4	146	6	2.7	55.8	41.5	147	5
	愛媛	父親	3.5	31.6	64.9	57	2		41.8	58.2	55	4
		母親	7.7	37.4	54.9	91	1	3.3	37.8	58.9	90	2
		計	6.1	35.1	58.8	148	3	2.1	39.3	58.6	145	6
長崎	父親	7.9	25.4	66.7	63		12.3	19.3	68.4	57	6	
	母親	9.7	35.5	54.8	62	1	6.7	40.0	53.3	60	3	
	計	8.8	30.4	60.8	125	1	9.4	29.9	60.7	117	9	
計	父親	8.0	33.0	59.0	327	6	7.3	36.1	56.5	313	20	
	母親	5.0	40.4	54.6	403	16	2.5	44.5	53.0	400	19	
	計	6.3	37.1	56.6	730	22	4.6	40.8	54.6	713	39	
合 計	父親	7.3	34.4	58.3	627	16	7.6	35.7	56.7	605	38	
	母親	4.7	39.9	55.4	747	27	4.3	41.6	54.1	745	29	
	計	5.9	37.4	56.7	1,374	43	5.8	39.0	55.2	1,350	67	
子供船員志向	父親	賛成	100.0		25	1	100.0		22	4		
	父親	反対	6.7	93.3	163	1	6.9	93.1	159	5		
	父親	本人	2.3	14.6	83.1	439	1	3.1	16.0	80.9	424	16
	母親	賛成	100.0		18	3	100.0		17	4		
	母親	反対	2.0	98.0	245	1	2.9	97.1	242	4		
	母親	本人	2.5	12.0	85.5	484	10	1.6	15.4	82.9	486	8
	計		5.9	37.4	56.7	1,374	17	5.8	39.0	55.3	1,350	41

奈川の高校の父親において1割以上が商船船員になることに賛成している。

2) 漁船船員になると言い出したら

漁船船員に対しても商船同様、本人にまかせるが55.2%と多く、反対する39.0%、賛成する5.8%と、船員になるのに反対する保護者が多いことを示している。漁船船員におい

ても、母親に反対者が多く、富山の高校の母親では賛成者が皆無となっている。一方、宮城の中学と長崎の高校の父親に1割以上の賛成者がいる。

4 船員志向に対する反対の理由(表8)

商船船員、漁船船員問わず、4割近くの保護者が子供が船員になることに反対している

が、その反対理由を子供が船員になることに賛成である保護者も含めて聞いてみた。また、反対理由は、商船船員と漁船船員とに分けて聞いている。

1) 商船船員(複数回答)

子供が商船船員になることに反対する理由

を多い順に並べると、①危険な職業だから32.9%、②家庭生活に恵まれないから22.5%、③子供にふさわしい職業があるから13.8%、④馴染みの薄い職業だから12.1%、⑤業界に将来性がないから6.9%、⑥職業魅力に乏しいから6.6%、⑦雇用が安定していないから

表 8 船員志向に対する反対の理由

(%, 人)

商船船員			ナジミ薄	魅力欠	低収入	危険	家庭	雇不安	将来ナイ	他職業	その他	合計	実数
中	宮城	父親	11.1	3.7	3.7	29.6	27.8	9.3	9.3	14.8		200	108
		母親	8.8	3.8	1.2	42.5	25.0	7.5	5.0	15.0	1.2	200	160
		計	9.7	3.7	2.2	37.3	26.1	8.2	6.7	14.9	0.7	200	268
	神奈川	父親	11.5	8.2	1.6	27.9	23.0	1.6	4.9	14.8		200	122
		母親	12.1	6.1	3.0	33.3	16.7	6.1	4.5	13.6		200	132
		計	11.8	7.1	2.4	30.7	19.7	3.9	4.7	14.2		200	254
	富山	父親	11.5	13.1	3.3	36.1	18.0	8.2	8.2	11.5		200	122
		母親	15.3	8.3		40.3	13.9	8.3	9.7	18.1		200	144
		計	13.5	10.5	1.5	38.3	15.8	8.3	9.0	15.0		200	266
	愛媛	父親	14.9	6.0	1.5	23.9	28.4	4.5		11.9		200	134
		母親	20.5	7.2	1.2	33.7	32.5	8.4	6.0	8.4		200	166
		計	18.0	6.7	1.3	29.3	30.7	6.7	3.3	10.0		200	300
学	長崎	父親	4.5	6.0	6.0	31.3	31.3	6.0	11.9	16.4		200	134
		母親	27.8	7.4	3.7	50.0	18.5	3.7	9.3	9.3		200	108
		計	14.9	6.6	5.0	39.7	25.6	5.0	10.7	13.2		200	242
	計	父親	10.6	7.4	3.2	29.7	25.8	5.8	6.8	13.9		200	620
		母親	16.3	6.5	1.7	39.4	22.0	7.0	6.8	13.0	0.3	200	710
	計	13.7	6.9	2.4	34.9	23.8	6.5	6.8	13.4	0.2	200	1,330	
高	宮城	父親	13.9	11.1	5.6	29.2	19.4	8.3	12.5	16.7		200	144
		母親	12.0	4.8	5.8	33.7	21.7	1.2	6.0	20.5		200	166
		計	12.9	7.7	5.2	31.6	20.6	4.5	9.0	18.7		200	310
	神奈川	父親	13.9	7.6		29.1	21.5	5.1	3.8	12.7		200	158
		母親	7.9	3.4	1.1	29.2	20.2	1.1	4.5	9.0		200	178
		計	10.7	5.4	0.6	29.2	20.8	3.0	4.2	10.7		200	336
	富山	父親	13.4	6.7	5.0	30.3	21.8	6.7	6.7	8.4	1.7	200	119
		母親	9.8	6.5	4.3	35.9	16.3	4.3	7.6	16.3	3.3	200	184
		計	11.2	6.6	4.6	33.7	18.5	5.3	7.3	13.2	2.6	200	303
	愛媛	父親	8.5	6.8	1.7	33.9	22.0	8.5	8.5	10.2	1.7	200	118
		母親	12.0	7.6	3.3	33.7	20.7	7.6	3.3	20.7		200	184
		計	10.6	7.3	2.6	33.8	21.2	7.9	5.3	16.6	0.7	200	302
校	長崎	父親	6.4	6.4	4.8	27.2	25.6		12.8	11.2		200	125
		母親	8.0	3.2	3.2	25.6	28.8	4.8	6.4	11.2	1.6	200	125
		計	7.2	4.8	4.0	26.4	27.2	2.4	9.6	11.2	0.8	200	250
	計	父親	11.4	7.8	3.3	29.8	22.0	5.7	8.7	12.0	0.6	200	664
	母親	10.0	5.3	3.3	32.0	21.0	3.8	5.5	15.8	1.0	200	837	
	計	10.7	6.4	3.3	31.0	21.5	4.7	6.9	14.1	0.8	200	1,501	
合 計	父親	11.1	7.6	3.3	29.8	23.8	5.8	7.8	12.9	0.3	200	1,284	
	母親	12.9	5.8	2.6	35.4	21.5	5.3	6.1	14.5	0.6	200	1,547	
	計	12.1	6.6	2.9	32.9	22.5	5.5	6.9	13.8	0.5	200	2,831	
子 供 船 員 志 向	父親	賛成	11.5		3.8	11.5	23.1		7.7	7.7		200	52
	父親	反対	12.8	11.6	4.9	43.4	38.5	9.8	11.6	25.1	1.2	200	327
	父親	本人	10.7	6.6	2.7	25.5	19.1	4.1	6.6	9.1		200	879
	母親	賛成	19.0	4.8		9.5						200	42
	母親	反対	19.1	7.7	2.4	58.7	35.4	5.3	9.0	24.4	2.0	200	491
	母親	本人	9.9	5.1	2.8	25.7	16.0	5.7	5.1	10.5		200	988
	計		12.3	6.7	3.0	33.1	23.0	5.4	7.0	14.0	0.5	200	2,779



5.5%、⑧収入が低いから3.3%、⑨その他0.5%となる。

2) 漁船船員(複数回答)

子供が漁船船員になるのを反対する理由では、①危険な職業だから26.7%、②家庭生活に恵まれないから15.4%、③馴染みの薄い職

業だから9.5%、④子供にふさわしい職業があるから9.3%、⑤業界に将来性がないから6.9%、⑥雇用が安定していないから6.7%、⑦職業魅力に乏しいから4.3%、⑧収入が低いから3.2%、⑨その他0.4%となる。

商船と漁船では、反対の理由としてそれは

漁船船員

			ナジミ薄	魅力欠	低収入	危険	家庭	雇不安	将来ナイ	他職業	その他	合計	実数
中	宮城	父親	13.0	3.7		35.2	18.5	3.7	18.5	14.8		200	108
		母親	11.2	7.5	2.5	35.0	17.5	7.5	8.8	8.8	1.2	200	160
		計	11.9	6.0	1.5	35.1	17.9	6.0	12.7	11.2	0.7	200	268
	神奈川	父親	15.0	5.0		30.0	13.3	6.7	6.7	11.7		200	120
		母親	10.6	6.1	1.5	28.8	18.2	3.0	4.5	15.2		200	132
		計	12.7	5.6	0.8	29.4	15.9	4.8	5.6	13.5		200	252
富山	父親	4.9	11.5	4.9	42.6	19.7	33.3	9.8	11.5		200	122	
	母親	12.5	9.7		33.3	19.4	8.3	9.7	15.3		200	144	
	計	9.0	10.5	2.3	37.6	19.5	6.0	9.8	13.5		200	266	
学	愛媛	父親	11.9	7.5	4.5	23.9	29.9	4.5	3.0	7.5		200	134
		母親	12.0	3.6	4.8	38.6	33.7	8.4	3.6	9.6		200	166
		計	12.0	5.3	4.7	32.0	32.0	6.7	3.3	8.7		200	300
	長崎	父親	11.9	6.0		25.4	28.4	7.5	10.4	16.4		200	134
		母親	37.0	5.6	1.9	29.6	31.5	7.4	5.6	11.1		200	108
		計	23.1	5.8	0.8	27.3	29.8	7.4	8.3	14.0		200	242
計	父親	11.3	6.8	1.9	31.1	22.3	5.2	9.4	12.3		200	618	
	母親	15.5	6.5	2.3	33.5	23.9	7.0	6.5	11.8	0.3	200	710	
	計	13.6	6.6	2.1	32.4	23.2	6.2	7.8	12.0	0.2	200	1,328	
高	宮城	父親	8.3	9.7	6.9	29.2	9.7	8.3	11.1	12.5		200	144
		母親	15.7	3.6	3.6	39.8	16.9	4.8	18.1	16.9		200	166
		計	12.3	6.5	5.2	34.8	13.5	6.5	14.8	14.8		200	310
	神奈川	父親	19.0	8.9		38.0	16.5	3.8	8.9	6.3		200	158
		母親	6.7	3.4	1.1	30.3	18.0	3.4	4.5	6.7	1.1	200	178
		計	12.5	6.0	0.6	33.9	17.3	3.6	6.5	6.5	0.6	200	336
富山	父親	20.2	8.4	3.4	35.3	16.8	8.4	6.7	11.8	3.4	200	119	
	母親	7.6	9.8	2.2	35.9	13.0	6.5	9.8	13.0	4.3	200	184	
	計	12.5	9.2	2.6	35.6	14.5	7.3	8.6	12.5	4.0	200	303	
校	愛媛	父親	10.2	11.9	1.7	27.1	16.9	11.9	10.2	10.2	1.7	200	118
		母親	18.5	3.3	2.2	25.0	14.1	6.5	5.4	27.2	1.1	200	184
		計	15.2	6.6	2.0	25.8	15.2	8.6	7.3	20.5	1.3	200	302
	長崎	父親	6.3	4.8	1.6	28.6	14.3	9.5	7.9	6.3		200	126
		母親	4.8	4.8	11.2	20.8	25.6	3.2	8.0	9.6	1.6	200	125
		計	5.6	4.8	6.4	24.7	19.9	6.4	8.0	8.0	0.8	200	251
計	父親	12.9	8.7	2.7	31.9	14.7	8.1	9.0	9.3	0.9	200	665	
	母親	11.0	5.0	3.6	30.8	17.0	5.0	9.1	15.1	1.7	200	837	
	計	11.9	6.7	3.2	31.3	16.0	6.4	9.1	12.5	1.3	200	1,502	
合	父親	12.2	7.8	2.3	31.5	18.4	6.7	9.2	10.8	0.5	200	1,283	
	母親	13.1	5.7	3.0	32.1	20.2	6.0	7.9	13.6	1.0	200	1,547	
	計	12.7	6.6	2.7	31.8	19.4	6.3	8.5	12.3	0.7	200	2,830	
子 供 船 員 志 向	父親	賛成	19.2	3.8		15.4	11.5	3.8	3.8	3.8		200	52
		反対	15.9	11.6	3.7	43.4	30.0	11.0	11.6	21.4	1.2	200	327
	母親	賛成	10.5	6.8	2.1	28.0	14.8	5.5	8.7	7.5	0.2	200	878
		反対	9.5	4.8		14.3						200	42
	母親	本人	21.2	9.0	2.9	46.0	32.6	5.3	11.0	24.0	2.4	200	491
		本人	9.5	4.3	3.2	26.7	15.4	6.7	6.9	9.3	0.4	200	988
計	計	12.8	6.8	2.7	32.1	19.7	6.4	8.6	12.5	0.8	200	2,778	

どの違いは認められないが、3位と4位の「ふさわしい職業が他にある」と、「馴染みの薄さ」が入れ替わり、また、6位と7位の「職業に魅力がない」と、「雇用が不安定」も商船と漁船では順位が入れ替わっている。

子供が船員になることに賛成である保護者は、商船船員では父親は家庭生活に恵まれない23.1%を最も多い反対理由としている。母親では馴染みが薄い19.0%が高い。漁船船員では、父親は馴染みが薄い19.2%と高く、次いで危険15.4%となり、母親は危険14.8%が多いものとなっている。

## ま と め

2年間にわたる調査活動から、どのような観点に着目すれば、若者が今後、日本の海運業と水産業の船員になってくれそうかについて、若干の整理を行い、まとめとする。

まず、中学校男子の17.7%、高校男子8.2%が、船員になってよいとしていることは、調査対象が船員供給地にかたよっているきらいや、調査内容を斟酌してか船員職業に好意的になっているとはいえ、最近の若者であっても、船員のなり手がなくなっているのではなく、かなりの量のなり手がいるという、心強い回答となっていることに注目したい(就業者人口約6,000万人に対して船員統計上の船員約16万人)。

そうしたなり手の候補として、かなり直接的に期待できる若者は、近親者や身近に船員がいて、その職業のありようを知っている若者である。こうしたいわば船員職業の世代継続が相当程度、維持されるならば、若者の船員職業の選択は持続しよう。しかし、そうなっ

ていないことはあきらかであり、その反省からみて、この世代継続が維持されるどうかは、一つには現役船員が現状の船員職業にどの程度、満足しているどうかにかかっているといえる。

そうした世代継続者ではなく、広く若者になり手を期待するとすれば、あまたの陸上職業と、船員職業は何が違うかが問われることになる。そのとき、一方では多くの人々の船員職業のイメージは、従来に比べかなり散漫になっており、他方では船員職業の評価は従来通りとみられるが、3K職業として受取られている。したがって、船員職業があまたの陸上職業とは違った、それなりにではなく、目をそばだたせるような職業魅力がなければならず、しかもそれが多くの人々、なかでも若者とその両親にしっかり確認されなければならない。

そのためには、多くの側面についての様々な努力が必要となるが、若者が船員職業を選択しようとする場合、調査結果からみて、どのような職業上の側面に注目する必要があるかをみてる。

① 船員職業が、まずそれなりに親しみとあこがれを持つ職業となり、それに応じて船員養成機関が進学志望校として位置づけられ、現実にもそれを志望するかどうかで決まる。それらを可能にするには、海運・水産業界が船や港、船員養成機関、そして船員を接しやすいものにするとともに、船員養成機関の努力だけではなく、海運・水産企業自らが船員に志向する若者を見つけだし、船員養成機関に送り込むことも必要となっている。

② 船員職業には、サラリーマンにはない

ものがあることが着目されているとき、それにかかわりのある、たとえばロマンに満ち、男らしい、楽しく、くつろぎがある、社会的評価の高い職業である、地元で居住しながら就職できる、地元で長い休暇を過ごせる、職場の自然環境は明るく、広いといったことをキーワードとして取り上げ、イメージ作戦を展開する。

③ 海運業や水産業の船員になれば、あまたの陸上職業とは違って、それら産業や雇用はどう安定しているか、その賃金や休暇、年金がどう優れているか、その労働条件は家庭生活のマイナスをどう償っているか、職場はどのように近代化されているか、などといった積極面を前面に打ち出し、若者の職業選択を促進させ、その獲得に努める。

こうしたことを踏まえていえることは、当たり前前の結語となるが、それなりに船員志向を持ったかなりの若者が厳然と存在するなかにあって、海運業界や水産業界が現実に若者を引きつけうるかどうかは、かれらが希望あるいは期待する職業的な諸条件を、どの程度、用意できるかどうかにかかっているということになる。

〔平成3年度「船員職業に関する調査」〕  
〔(第2年度), 執筆担当 篠原陽一,  
三輪千年の要約である。〕